

Le Coeur



Lobster

vol. 41



銘

ル・クールとは、フランス語で魂や精神の宿るところを意味する言葉です。

したがって松高精神の核となるものがこの生徒会誌「ル・クール」です。

「ル・クール」は、我々の魂と生き方の質を高め、励ます資料です。

目次

表紙・裏共 二B 三浦由衣子

ル・クール 銘

絵 二C 羽生 良香

論説	国語科 河村 廣通	1
----	-----------	---

前期生徒会長 二B 小島 一剛	3
-----------------	---

委員会報告	4
-------	---

クラブ紹介	10
-------	----

行事報告	入学式	23
------	-----	----

遠足	24
----	----

体育祭	30
-----	----

輝松祭	33
-----	----

二年生修学旅行	43
---------	----

寄稿	二E 北 江見	45
----	---------	----

三C 長谷川健人	48
----------	----

特集	松高生の実態(アンケート結果)	50
----	-----------------	----

クラス紹介	54
-------	----

編集後記	67
------	----

論説 学ぶことは何ができることなのか

——都立松原高校を展望することに代えて——

国語科 河村 廣通

昨七月のある日の放課後に、飄然の態で二日の永井雄作君（本誌委員長）がやってきた。本校の現状と展望ということで、一文を草せよ、とのことだった。私は永井君と教室で相見えていたのでその学問の風格を知らないが、一年生だった時の編集委員会での沈着な配慮に富む活躍を見て、並々ならぬ気骨と器量に感じ入っている。厳しく且つ遠大なテーマのことを見開きページに収めるなど途方もないことだが、引き受けないわけにはいかなかった。人物と見込んでいる男からの依頼である。

しかし、やはり難題に苦しんだ。書き改めること五稿。永井君は編集の黒衣であり名前を出されることは大いに迷惑に違いないが、肩の力を抜いて楽屋裏から書き出した。本誌の第三十九号、第四十号の編集後記に、私は当時の顧問として短文を書いている。本校の現状と展望ということでの私の意見も、実はそこに捨象圧縮させてあるのだが、それにいささかの卑近な事例で書き足しをする気持ちである。熱心な新入生諸君は上級生から前々号を借覧せられよ。私の気性には、人の一事を見て、その万事を憂うところがある。国語科室の二階から朝、校門を見下ろしていて、八時二十五分の予鈴も馬耳東風に、走りもせず、無神経を装っているのか、臆面もなしというのか、教室に入れば八

うその時に、その一事に徹して、命懸けになる。真剣に、骨身を惜しまずに、その一事に尽くす。生きていくことを立派にする優れた可能性の条件が、そのことで眠っている状態から引き出され、他の一事にも尽くせるように、次第に覚醒の範囲が広がり、人が人らしく育てられていく。

私の考え方は、高校生としての君を鍛えて大学や専門学校の上級学校に送り出すことは瑣末な小事に過ぎぬ。教科としての学問のそれぞれの知識や技能を身に付ける必要のあるそれはそれとして、学問の本質は教科書や問題集などの書物に期待できるものではない。つまりは、お人（先生や先輩や友人）からどれだけ優れた感化力を得て、それを見習い、人としてまともに生きること、発奮できるのか（反面教師を見ての悲しい発奮も現実には多いが）、というところが重要だ。将来、大学院にまで学ぶとしても、学問は結局は理論の冷徹な学習や組み立てによってではなく、人として優れた生き方ができるという行動力の情熱によって真価の有無を決するものだ。しかも生きることとは、今日生きることの具体的な万事を美しくすることに、最善を尽くすことに尽きる。それは一生かかる大事業であり、大学を卒業したから、資格を取ることができたから、というようなことで立派な在り方ができていくものではないことを自明の理として、いい加減なことしかできないでいる粗雑な自分を行動力の上で厳しく鍛えていこう、とせねばならぬ。今日の生き方がだらしなく、いい加減で、そのことに平氣のままにいる者に、明日の光明はあり得ないのだ。

時三十分を過ぎていように、のそのそと遅刻をして、恬として恥じない人間に松高生の資格はない、と断言したい。八時二十五分の予鈴では既に悠然と背筋を伸ばして着席し、机上には勉強の準備があり、先生の来室を今や遅しと待ち構え、氣息を整えて今日一日の修業に思いを致すべきである。鍛えようとする意識はおのずとその姿勢に現れよう。

そもそも、時間が意味を持つのは、人生が有限の存在であるからに外ならぬ。その故に、時間を惜しみ、時間を大切に思う気風を人は内面に養ってきた。とにかく、ぎりぎりでもその時刻に間に合えばいいだろうと考えて行動するような姑息な生活感覚では、到底懐の深い豊かな人間としての大成は望めない。学問には無縁の徒と言うべきである。

情けない気持ちを抑えて付け加えるが、先生方にはもとより、用務員のおじさん、おばさんには特別にお世話になっている深い感謝の気持ちも込めて、明朗に、おはようございます、の挨拶を忘れてはならぬ。動物に劣ってはならぬ。なにもかもが、最初からきちんとできてはいかない。秀才とは自己の非を責める名人と言うべきか。例えば、「山月記」の作者中島敦のごとく、年少からなにもかもがきちんとこなせた傑物もたまにはいるが、可愛げがない。遅刻をしない。ゆとりのある登校ができる、という一事がきちんと、ある意味では命懸けで、できるようになれば、学問をしていく意味も必ず分かるようになる。生きていくことを立派にするというのは、そうしたところから入るのだ。清掃当番が、日直が、宿題が当てられて、巡ってきたとい

行動力ということでは、教室の勉強以外に運動にも精励する運動部の諸君に、真に強くなれる方法を伝授したい。特に、二十四時間の共同生活を行う合宿での鍛練法である。出入り口で、靴やスリッパをいつでもきれいに履きそろえる。食べ物はいっしょに噛んで食べ、鰯、鰯などは頭から尻尾まで骨はもとより丸ごと食べる。粗食に文句をつけて残したり、缶ジュースに飛びついたりしない。どんな早朝の練習でも、布団をきれいに畳んで出る。「おはようございます」「ごめんない」「ありがとうございます」。「おやすみなさい」の挨拶が、心から言える。部屋と同様に、洗面所、便所、風呂場がきれいに磨かれて、気持ちよく輝いている。便所のスリッパがそろえられなかったり、風呂場の使い方が汚くて湯桶が散乱したままだったり、部屋で布団が敷きつ放しで踏み付けられ、バッグの荷物が見苦しく四方に散らばっているようなことでは、格好よく練習に出掛けても半端なことしかできないだろうし、そもそも練習すること自体が噴飯もののナンセンスだ。心がだめで、体を鍛えても、そんな運動部は三流以下でしかないのだ。運動はするが他のことは自堕落のままの放任といったような呆れた蕪雑を許してはなるまい。勝負にだけこだわりのためだけの技術の練磨が運動部のやることだと浅はかに思い込んでいような卑しい段階のことを払拭しなければならぬ。運動部の練習も、つまりは人間ができていく鍛練である。生活全体で美しい生き方を心掛け、正直で誠実な努力で人の信頼感が育つとき、運動部は強くなるのだ。

誇れる学校に

自分の可能性を信じて努力したい

前期 生徒会長 小島 一剛

松原高校の生徒としてあなたの誇れるものは何ですか。私たちが生徒としてこの松原の誇れるもの……あるようだなかなありません。これは、松原の生徒としてとても恥かしいことだと思えます。これではいったい何のために学校に来るのかと考えさせられてしまいます。これから何十年か経って、自分の母校を思い出した時、私たちの心に映る松原高校とはどんな高校なのでしょう。考えや意見は人それぞれかもしれませんが、高校の記憶がありません。こんな寂しいことがあつてよいのでしょうか。いいえ、誰もがこの三年間の長いようで短い時間を充実したものにしたいと思つてはいます。高校時代の誇らしげな記憶の原点は、この充実した時間にあると私は確信します。そんな高校時代の楽しい思い出を人に話す時の自分を想像したことはありますか。何もしないであきらめるということではなく、充実した時間を送り、誇れるものも見出ししていきたい。

松原高校は、たいした問題もなくみんなのびのびと生活している。規則もあまりなく、学校に縛られることもないので、自分の個性を発揮して伸ばすことができる。受験校のようなピリピリした雰囲気もなく、和気あいあいと勉強することができ。こんなにすばらしい環境の学校は他に

はないだろうし、こんなに自由な学校もないと思う。では、なぜこんなにすばらしいことを生かすことができないのか。それはきっと、あなたが「松原病」にかかってしまった、というよりは、むしろなかったと思ひこんでいるところに原因があると思う。この病気になるってしまった人は、おそらく自分に妥協しているのではないだろうか。これでもういいやなどと気力のないことを考えるようになってしまふ。私たちにはこの問題を克服するための何かが欠けていると思う。

all for one, one for all

という言葉があるが、あまり受験戦争の波のない都立高校だからこそ仲間が互いに手を取り合つていけばいいのではないかと思う。しかしまわりに頼つてばかりいては、自己の発展は望めないだろう。自己の発展を望むには、やはり自分自身の努力が必要になつてくるだろう。

「天才とは九十九パーセントの汗を流し、一パーセントのひらめきのある人のことだ。」と言つたのは、十二歳で聴覚を失いながら、補聴器を発明したエジソンの言葉だ。目先だけの勉強や、大学に合格するためだけの勉強ではだめなように思われる。このような勉強法は結局、本当のものにはならないだろう。つまり毎日の努力が大切なのだ。そして、この意志が貫けるかどうかが問題なのだ。一人の人間として、意志を貫くのは、平凡であたりまえのようだが、一番大切なことだと思う。

みんなでより立派な松原高校にしたい。

評議会

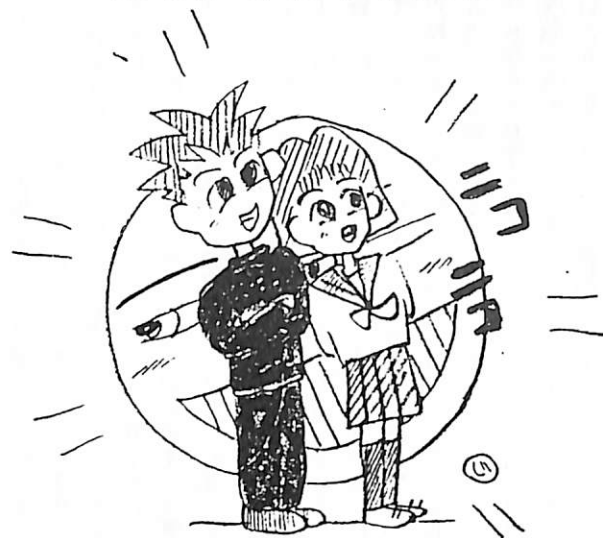
みなさんは「評議会」と聞いて、一体何をやっているんだと思いますか？「評議会」とは字のごとく、学校生活について、色々な事を議会という形で話し合う会なのであつて決して「冷暖房完備の教室を陣取つてのほんと過ごすの会」ではないのです。そう見えるかもしれませんが、

仕事の内容はというと、生徒手帳二十五ページ、第四章、評議会を三回ほど読めば把握していただけたと思います。はい。読んでいただけましたでしょうか？では続けます。しかし、だからといってそう堅くなることはありません。

「評議会」というのは、いわば生徒の意見を受け取る窓口。そう、みなさんの「心の窓」となるのです。大切なのはあなたの真心。たとえば、生徒総会でみんなが静かにしてくれなくとも、たとえば、生徒総会でみんなが人の話を聞いていなくとも、たとえば、生徒総会でみんながそれぞれ自由奔放してても、それを笑顔で受け止める、壮大なあなたの愛が、今のこの評議会には必要なのです。ちなみに、最近の功績はというと、九十一年度には自動販売機が入り、九十二年度では今、購買が入ろうとしています。さあ、あなたも自分自身、これがあつたらいいなあ、とか、こうしたら学校生活が、より良く楽しくなるんじゃないのかなあ、とか思つたら、ぜひぜひ評議会の輪に入りましょう。

(二D 長谷部 佳世)

委員会報告



図書委員会

みなさんは、松高の図書館を大いに利用していますか？
みなさんが図書館で本の貸し出しや返却の手続きがスムーズにできるように、図書委員一同は月曜から土曜日までの昼休みと放課後に交替でカウンター当番をしています。

図書委員会では毎年輝松祭で、古本市を行っています。しかし今回は。はやりにはやった「マイ・ガール」と、「羊たちの沈黙」のビデオ上映会を行ったのです。反響はといいますと……松高生やその他多くの人が見に来てくれました。

委員会の時間では、新着図書にカバーをつける資料班と、ポスターを掲示したり、図書新聞を作ったりしている広報班と、貸し出しの冊数を統計する統計班に分かれて、仕事を行っています。年間行事として図書委員総出で行われる蔵書点検もあります。図書委員会では、生徒及び職員のみなさんが、気軽に、また楽しく図書館を活用できるように、それぞれの仕事を果たしながら、活動しています。

図書委員がどれだけ一生懸命仕事をしているか、御理解いただけたかと思います。図書館を利用するみなさんも、「図書館では静かに」「本を無断で持ち出さない」という常識だけは守るようにしていただきたいと思っています。

(二D 田中 麻依子)

生活委員会

「生活委員会」我が松原高校の中で、一番楽な委員会である。数年前は、仕事がたくさんあり、やりがいがある委員会だったらしい。それで生活委員会の移り変わりをまづ書こう。

僕が聞いて知っている範囲では、昼休みの立ち番のことである。昼休みに校外に出ることは、許可なしでは認められていない。それで、その監視役に、一週間ないし二週間おきに当番が回ってきたそうだ。今ではそれがなく、生徒全員に割り当てられている。そういう意味では、ラッキーな委員会に入ったと思っている。

生活委員会で行なっている仕事は、遅刻防止キャンペーンを一年に二回、上履検査を学期に二回ずつ、体育祭、文化祭の警備などである。顧問の岡野先生のモットーは、生徒を厳しく見張る、うるさい委員会ではなく、学校生活を充実させる上で率先する、いわゆる「生活」委員会なのである。しかし、ひとつの規程を設けて生徒を統一化するのには、松高の象徴とも言える「自由」に反することになる。だがその自由には、責任が伴うこと、周りの目も考えられるような自由である。

堅いことは抜きにして、この生活委員会は、まず楽な委員会である。是非一回、参加してみてください。

(二B 金子 大輔)

文化委員会

我々文化委員会は、その名の示すように文化祭のみを行う委員会です。

委員会ではまず執行部を結成し、執行部を中心として活動を開始します。

活動は、一学期中盤から二学期初めの文化祭まで、その後はほとんどこれといった仕事はありませんが、文化祭直前は大変忙しく、残業が九時、十時は当たり前といった状態で、何と定時制が先に帰ってしまうほどです。前日などは言うまでもありません。机・椅子の移動や見まわり、前日の夜に全校のゴミを回収したりと、重労働でもありません。朝食が夜の七時になることもありました。

これだけ書くと大変悲惨な委員会のように思えるかもしれませんが、この合い間合い間にちょっとした楽しさを発見することがあります。文化祭が終ったあとの解放感は何とも言えないものがあり、少しの寂しさが伴います。それほど忙しいということでしょう。

文化祭を成功させたい方、時間のあり余っている方、ぜひ来年度は挑戦してみてください。

(二E 光安 潤磨)

整美委員会

整美委員会の活動内容は、普段クリーナを洗う事から始めて、学校内での整美について話し合いをして終わりのです。――が、実は行事があることに活動しているのです。

体育祭では外で使うゴミ箱を用意し、終わった後には外で使った椅子や机の下を拭いたりします。

行事ではありませんが、大掃除の時には、清掃用具を倉庫から出してきて各クラス毎に分けます。

そして、文化祭では「輝松祭」という看板をスチール缶で作りました。(皆さん見ていただけただけでしょうか?)この看板は夏休みから集まって何百個という缶を集め、洗い、そして組み立てるといって大変な仕事でした。途中でできるかどうか不安でしたが二、三年生があまり出れない時は一年生がよくがんばっていたと思います。文化祭ではDグループで優秀賞を取りました。(見てくれた皆さんありがとう!!)

整美委員は皆、けっこうのんびりで、楽しくやっています。そしてけっこうまとまりがあつて、案外おもしろかったりします。

(二C 石井 香織)

保健委員会

自分は保健委員会が楽だと思ってこの委員会に入った。が、なんとバスケット部の今泉や、男バレーの寺内とかに騙されて(ずつとおぼえてろ!)委員長になってしまった。これがまたたいへんで委員会とは全然関係ないことをたのまれり(星井先生)夏休みに学校にきたり大変だが、保健室の利用回数が多いということは夏は涼しく、冬は暖かい、他、色々ある。実に内容が濃いのであります。

内容を変えて、保健委員の主な仕事は、
●病人・けが人の応急手当——体育祭や文化祭の救護係として活躍します。

●保健だよりの発行——学期ごとに一回、保健に関する記事を掲載します。アンケートを行ったり、ためになる資料も載っているの、ちゃんと読んで下さい。

●記録の統計——生徒がいつ、どんな症状で保健室を利用したかを書いた記録の統計などもやります。

●石けんの補充——委員会の際に、交代で流しを見まわり石けんのない所には補充します。

●ポスター貼り——トイレのポスターを貼ったりしています。

以上がだいたいの保健委員会の仕事です。

(二D 春日 泰宣)

体育委員会

体育委員会の主な仕事は、四月の身体測定・五月の体育祭・十二月の球技大会などです。よって前期の大きな仕事は体育祭で、後期の大きな仕事は球技大会と身体測定です。他には、クラスでの体育の時間に体操をしたり、更衣室のカギの管理などをします。体育委員会では二つの大イベントをしきるので、自分の手で学校を変えたいと思っているキミにはもってこいの委員会だと思えます。だからと言ってそんなに仕事が多いわけでもありません。忙しいのはイベントの一ヶ月前ぐらいで、その他は全くと言っていいぐらい仕事がありませんので、委員会の時間に集まることもほとんどありません。また後期の体育委員には、すばらしい特権があります。それは身体測定の時に普通の生徒は測定を行うのに何十分も並んで待っています。体育委員は並んだりせずにすぐに測定することが出来る。その他にも幾つかの特権はあるがそれは体育委員になってからの楽しみである。最後に私事でありますが、一年間という長い間委員長をできたことはとても感謝感激雨霰でございました。

(三F 伊藤 秀人)

新聞委員会

「編集事件簿」——書記改め委員長は何でもやります——久しぶりにこの「編集事件簿」が帰ってきた。思えばこのコーナーが知らぬ間に「世界の銘茶」(松高新聞ロゴ不連載中)になってしまっていた。だが今回はこの「ル・クール」というもののために復活したのである。

今回のお題、カッコ良く言えばテーマは「雑用」である。我が「松高新聞」の二年生主力スタッフは多忙である。三人のうち一人は陸上部と物理部の部長、そしてもう一人は生物部長である。そしてこの私は、普通のときはそれほど忙しくないのだが、「輝松祭」ではいつになく多忙であった。クラスに受付、そして文化祭執行部ととにかく目がまわるほどの忙しさ。「松高新聞」の編集作業もつらいが、それに輪をかけてつらい。そして仕事をたくさん頼まれる。なぜだ、なぜこんなに働かされるのだ、そうだが、今から考えると私が愛用しているサファリ形ハットに「何でもやります」と書かれた記事をつけていたのだ。どうりで仕事が増えて来るわけだ。おまけにその記事を見た人は必ず声をあげて笑う。でも、はつきり言ってこれを自分は気に入ってつけていたのだから、何とも思わない。でも仕事だけは……

まとめるスペースがあまりないが、新聞委員会には、多忙な人ばかりが取り揃っているのだ。

(二A 福田 修平)

放送委員会

私達の「松原高校放送委員会」を略してMBSといいます。早速ですが、MBSの仕事としては、
一、入学式や、卒業式などの放送設備の操作と司会。
二、体育祭のアナウンスとBGM。
三、毎日の「昼の放送」。

の三つがあげられます。
放送委員なんて言うと、暗いとかおたくだとか思われるけど、それは事実です。あんまりなので、少しでも明るいイメージをと思って、文化祭に占いとして参加したら、もっと怖がられてしまいました。

歴代委員長達は、仕事をきちんとこなす苦情の電話もごくマレでしたが、今は、趣味が悪い。音がでかい。まちがっているなどとバンバンかかってきます。このように、とてもなく頼りない現在の委員長・委員ですから、仕事を進んでドンドンやって頂ける方おまちしています。

放送室の利用については、昼休みの、三十分間です。放送できるのは委員会・クラブ・クラス・教科・生徒会関係の連絡放送です。原稿を書いて南棟二階、国語科の隣の放送室までもってきて下さい。又、流したい曲の方もよかったです。CD・テープ・レコード・ラジオFM・AM・使用可能です。

(二A 岩崎 まい子)

選挙管理委員会

選挙管理委員会は、名前を見てわかるように選挙の時に公示をしたり、不正がないかを監視したりします。

活動は、年二回の生徒会総務役員選挙の時の前後のみで他の委員会と比較すると集まる回数が異常なほど少ない。だから珍しく委員会を開くと自分が「選管」なのを、忘れてしまっているのか委員会に来ない人がチラホラいたりして…。

これは絶対的に良い例でないのでマネしないようにお願いします。

委員会なんてメンドウダと思っている人、選挙管理委員会に入りなさい。その考えを変えてあげましょう。

最後に、毎回の事みただけで、選挙の時になかなか立候補者が出ません。もし生徒会がなくなってしまうと、文化祭などの行事ができなくなってしまうし、部活などにも部費が出なくなるし、最悪の場合には活動ができなくなってしまう場合があります。「そんなのイヤ」と言う人は、総務に立候補しよう。

(二D 濱渦 俊美)

生徒会誌編集委員会

この委員会の活動内容は、この「ル・クール」を作ることです。

「ル・クール」に載せる記事内容は、生徒会・委員会報告・クラブ紹介・行事報告・クラス紹介などがあります。これらの分担を決めて、記事を集めたり、アンケートをとったりします。活動は、週一回ありますが、行事等でつぶれたりするので、実際は、たいして活動ができないのです。一学期にのんびりやっていると、二学期に入って、必ず慌てることになってしまいます。

今回の「ル・クール」は、今年こそ、これまでの本とは違ったものを作ろうと試みましたが、それほど変わっていないと思います。これは、言訳にかなりませんが、本当に時間が足りないのです。しかし、委員が一人となつて、一生懸命になって作っています。

そこで、皆さんにも、是非、協力してほしいことがあります。まず、クラブ紹介・クラス紹介などの依頼原稿の提出率が非常に悪いので、必ず出して下さい。また、イラストや投稿の応募も、四月から十一月末まで受け付けます。そして、この「ル・クール」を、もっと楽しめるものになりたいと思っている人や、制作に興味のある人は、是非、この委員会に入ってみてください。

(二B 永井 雄作)

演劇部

私達演劇部は日々の練習を和気藹々で行っております。普通の演劇部と同じように、基礎体力づくりの為に柔軟運動、腹筋、背筋、そして発声練習に滑舌練習、劇の練習位なものです。(しかし我が部が普通かどうかはよくわかりません。)

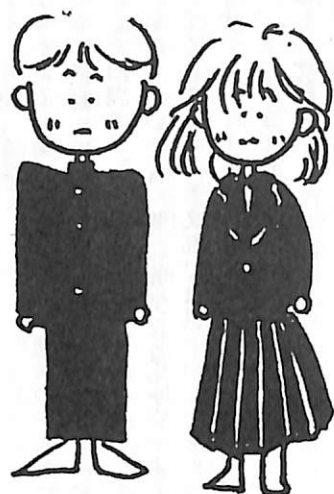
私達が皆様に普段の練習の成果をお見せすることができるのは、文化祭、地区大会、春、冬に視聴覚室で行なわれる定期公演です。日頃、どんなにふざけているようでも、少なくともこの日だけは皆真剣です。(もちろん、日頃から真剣にやっつけないわけではないです。あくまでも言葉のあやです。はい。)

まあ、実際どれ程楽しいのかは見てもらうのが一番でつとりばやいでしょう。笑いすぎて腹筋が痛くなる毎日なんです。演劇部員は腹筋を使って笑う為、とても笑い声が大きくて朗らかです。(大きいのは私だけだった?)

というわけで(どういうわけだ。——一人でボケて一人でつっこむのはとてもむなし。だったらやめろってか)新入部員いつでも大歓迎です。この清く正しく美しい(かどうかは知らない)朗らかな演劇部をどうぞよろしく。

(二F 神木 幸代)

クラブ紹介



天文部

部員A（以下A）「皆さん、天文部が存在することを知っていましたか？」（A、熱のこもった声で）

聴衆（以下聴）「えーそんなもんあったの？」「知ってた？」、「ううん」（聴衆のざわめきに、A、蒼白）

A「あります！天文部は、まだあります。（断定口調で）ただ、活動はぜんぜんしていないけど。（Aの声、しだいに小さくなる）」

（静まりかえる会場。そんな中で、聴衆の一人が）

聴「あ、う、活動って何をしていたんですか？」（おどおどした口調で）

A（気落していたA、急に元気になって）「よくぞ聞いてくれました。天文部では以下のことをやっています。一、ミーティング。二、夜外観測。三、

・。・。（三、まで言って黙りこむA。）

（しばしの沈黙）

A「以上が、活動内容です。」

聴「3番目は、何ですか？」（期待と不安がこみ上った表情で）

A「教えません。しかし、入部すれば、わかることです。

（□元を歪めながら）これで終ります。」

（聴衆・ブーイング。その中、A立ち去る。）

（三D 江口 誠）

華道部

華道部は毎週火曜日の放課後、小会議室で活動を行っています。講師は京都古流家元の久連峯先生です。

以前からなごやかでのんびりした部だったのですが、最近ますます拍車がかかって、しばしば先生を交えて世間話などしながらお茶会を開いたりもしています。

こういう事は部員が少ないからできることで、わたしはこういう部の雰囲気がとても気に入っているのですが、それでは困るのです。

なぜ困るかという点、このままでは華道部が部員不足で廃部になってしまうからです！

だからお花に少しでも興味のある人、お花が好きなお花に少しでも興味がある人、お花代を毎週出すのがきつい人はお金

をよく聞きますが、お花代を毎週出すのがきつい人はお金に余裕のある週だけお稽古すれば良いのです。二週間に一回や月一回でもかまいません。また初心者でも先生がこれから教えてくださいますので大丈夫です。げんに初心者でも半年で立派に文化祭に出品できる作品を生けられるようになっていきます。

（三A 内山 奈美）

生物部

このスペースを使う生物部紹介は、わずか一行で済んでしまうので、まず別のことを書くことにする。

この「ル・クール」が松高内に出来るころには、完成している可能性が多分にはないわけではないので、ここに部誌の予告変などを書いてはいるが、現在の段階では、まだ、貴方の幅広く豊富な知識と柔軟な理解力の限界に挑戦してしまうような構想らしき断片が編者の頭の中に混沌としている状況なので「生物部研究序説（偽題）」が果たしてどういう道を歩むのか、さっぱり不明である。まあ、これは部誌に限った話ではなく、生物部自体にも言えるのだが。

編者の頭の中にある意味不明な断片から比較的わかりやすい構想を拾い出すと、生物部になくちゃならない生物の話や、個性が豊かすぎてあふれかえってこぼれかけている部員と関係生徒の話、そして部長の人格が疑われてしまうであろう至極真面目な話などナド等々、でお送りするので興味のある方は是非、御覧いただきたいと思う。

最後に一行で終わる生物部紹介を書いておく。たったの一行で終わると言っても、この一行には金魚すくい用の紙一枚よりも薄い部長生命が賭かっているのである。

「このクラブは絶対に面白い。」

（二E 東條 風太）

E.S.S

「ESS」とは「ENGLISH SPEAKING SOCIETY」の略です。外人講師リン・メイアさんを囲んで、楽しく活動をしています。どのような活動をしているのかというと、みなさんもわかるの通り、一口で言えば「英会話」です。でも、ただ話するのではなく、ゲームをしたり、英語の歌を歌ったりと、いろいろな方向から英語を楽しんでいるのです。

時には、外国映画を見たりもします。日常の中で何ともしなしに使われているような教科書には出てこない言葉もたくさん出てきます。自分の耳で本場の英語を聞くのが一番、自分の身になると思います。

うまく英語が話せないという人、うまく話せなくなっている人、最初はだれだって話せない人です。リンメイアさんともとても気さくな方ですし、手でジェスチャーを加えながらも、単語を並べながらも、一生懸命気持ちを伝えようと思えば自然と伝わってしまうものです。

興味がある人は、どうぞ一度でもいいですから、顔をのぞかせてみてください。

（二F 町田 亜美）

ラグビー部

ラグビー部は、月、火、水、金、土の週五日間活動しています。部員は今のところ十六人しかいませんが、ここ三年間、冬の全国大会の都予選では、常にベスト十六に入っているという、校内で最も実力があり勝ち進むチームで、今年はそれ以上の成績を納めようと、練習に励んでいます。部の雰囲気も、他の部に比べるとおもしろいと思います。先輩、後輩の差別も全くなくて、みんな楽しく活動しています。まだまだ未熟な人もいるので、一年生でも、やる気と根気さえあれば、レギュラーになる確率も高いと思います。

今年の大学選手権決勝（法大ー早大）を見た人、スクール・ウォーズでおなじみの伏見工の優勝を見て感激した人、そして、ラグビーがとてもしりたい人、とりあえず練習を見に来て下さい。いや、仮入部でもいいから、私達と一緒にラグビーをしましょう。絶対、やつて後悔しないと思います。ぜひ、ラグビー部に入りましょう!!

ONE FOR ALL

ALL FOR ONE!

(二A 松崎 正)

バドミントン部

バドミントン部の魅力をこれから教えてあげましょう。えつなに? 「バドミなんてつまらない」ですってえい。そんなことないですよ、すごくおもしろいんだから。

それでは、みんなの気になる部員の特徴から教えますね。はつきし言つて、おもしろい人の集まりです。一年も二年も、ちよつと変(?)つていうか。うーん、とにかくおもしろいということは確かでしょう。先輩後輩の仲は「ない」に等しく、まるで兄弟、姉妹のようです。(ホントだよ) それに加えて、とても気の付く、やさしいMGもいます。くくくつ、自分で言うのもなんですが、いい部活だあ。

さあ、それでは本題の活動内容について教えちゃいましょう。うちの部は火・木・金の週三回、体育館で練習しています。(月は筋トレだつ) その練習内容は、フットワークや基礎打ち、ノックにゲーム、etc.。こんなこといってもわからないと思うから、とにかく一度みに来てよ!! スマッシュやブッシュを思いっきり打つてる姿はすごくカッコイイんだから♥月は筋トレをしています。参加者は真面目な人だけです。ほーら、ほーら、みなさんもだんだんこの部活に入りたくなつたでしょう!!

(二F 小牟田 真弓)

男子バレーボール部

男子バレーボール部は、二年生が六人、一年生が十一人マネージャー二人のクラブです。毎週月・火・水・木・金・土に体育館で練習しています。練習内容は、パス・サーブカット・スリーマン・スパイクなどを中心にやっています。公式戦の近くになると土曜日・日曜日などに、練習試合を組んでいます。一年生の半分くらいが高校から始めたのですが、今では二年生よりも上手な人がいます。夏のクラブ合宿の時などは、OBの方々が参加してくださり、現役の部員と、楽しく、時には厳しい練習をします。

しかし、宿舎ではそんな練習もわすれてOBとまじり、楽しく過ごします。

バレーボールは楽しい球技です。腕が痛くなったりするということは少しぐらいしかありません。時々だらけてしまふこともあります。いざという時には、まとまるけじめのある人の集まりです。初心者でも経験者でも、バレーボールに興味のある人は、見に来て下さい。マネージャーが少ないのでマネージャーも募集しています。

(二C 上保 政洋)

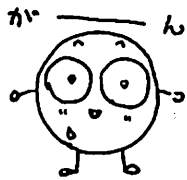
女子バレーボール部

私達女子バレー部は、二年生十四人、一年生十五人に加え、顧問の高澤先生といった三十人で成り立っています。顧問の高澤先生は、口だけで指導するのではなく私たちと一緒にブレイし、そこで悪い点などを注意してくれます。

新しいチームができてから三ヶ月が過ぎました。最初の方は練習もスムーズにいかずたいへんでした。そのため、去る八月二十三日の大会では二回戦で負けてしまいました。戦力では相手に劣ってはいましたが、雰囲気もよく成り上がり精一杯やったので悔いはないと思います。

私達は、けつして強いチームではありません。しかし、みんな「勝ちたい」という気持ちをもっています。勝つためには日々の努力が必要です。一生懸命、毎日短い時間ではありますが、練習に励むことは無駄なことではないと思います。短い時間の練習を積み重ね、「勝つ」ことを目標に、これから行われる大会でも、好成績を残せるように、みんなで協力してがんばっていききたいと思っています。

(二B 岡田 明子)



軟式テニス部

こんにちは。ル・クールで自分の文章が載るのは初めてなので緊張してます。まあいいや、早速「軟テ」の紹介をしましょう。

現在、二年九人、一年七人で活動しています。軟テの部員は、かわいく、純真で良い子なので、和気あいあいとしています（ちなみに私はウソをつくのはキライ）。まあ、それはきつと軟テの部長さんが良い子でかわいいからでしょう（部長＝筆者）

さて、活動日は、月・火・木・金・土曜日で、時間は、三時半から五時、土曜日だけ一時半から五時です。活動内容は、乱打→ランニングストローク・ボレー→サーブ・レシーブを主にやっています。ランニングや試合をしたりもします。夏には合宿もします。いつもの練習よりは辛いけど、もちろん死ぬことはありません。そして、合宿により一、二年の仲が、さらに深まるんですよ（いいコトだなあしみじみ…）。

バレー部やラグビー部のように強い部活ではありませんが、九月の団体戦では一勝♥をしたんです（その後の結果は聞かないで。でも、おしかったなあ）。

まっ、とにかく「和気あいあい」ですから、軟テに入る人は「和気あいあいの部活」を作ってくださいね。

（二E 田村 美穂）

硬式テニス部

我々、硬式テニス部は、テニスを楽しむだけでなく、高校体育連盟や、世田谷大会等の試合において、一回戦でも多く勝ち進めることのできる様な実力をつけるための部活動です。そのための毎日の練習のカリキュラムもかなりハードです。テニスは個人プレー（ダブルスを除く）なので、自分の努力次第で、いくらでも上達することが出来ます。よって、やる気のある人と、ない人とは、実力の差が大きいのです。

テニスというと、「あんなのお遊びよノスポーツじゃないわ」「どっかのお坊っちゃまのスポーツよ」などという考えをもっている人がいるでしょう。しかしテニスとはみなさんの想像以上に大変なスポーツです。プロテニスプレーヤーをみてごらんない。あの太いモモ。どれだけ筋力が必要かをもの語っています。そんなやりのあるテニス。これを好機に、テニスを始めてみてはいかがでしょう。私たちといっしょに青春の汗と涙を流してみたいかがでしよう。現役の他にもすばらしいOB、OGさん、そして、あのプロテニスプレーヤー、アンドレ・アガシをヘッドコーチに。サブコーチには白石正三選手を、おむかえしています。是非、入部してみてください。明日のアガシはキミだ!!

（二C 安藤 清人）

陸上部

我々陸上部は、様々な陸上競技を手がけています。トラックは短・中・長距離、フィールドに関しては幅跳びからやり

りにいたるまでです。最近では円盤も入ってきています。主に陸上というところを走ることに中心と思いがちですが、僕

たちは、フィールドの方もかなり盛んにやっております。

陸上競技はサッカーやラグビーなどと比べると派手さはない個人プレーが多くなるのですが、リレーはチームプレーの発揮できる数少ない競技の一つです。具体的な内容のほうで、やはり中心となることは、走ることにあります。走るといっても特に短距離などはやみくもに走っていてもタイムをのばすことは出来ません。スタートのタイミングをつかむことや、走っている間のフォームなどは特に大事です。最近、長距離の人は少なくなっていて、あまり話してもおもしろいことがありませんが、うちではフォームに気をつかっています。次に、フィールドの方ですが、やりな

どは体育でもやらないので、なかなかおもしろみのある種目だと思っています。私も少しは、やっているのですが全然とびません。もしあなたが、陸上に興味があり、やってみ

たいものがありましたらぜひ陸上部まで来てやってみませんか？陸上部は、毎週・火・水・木・土に校庭か、もしくは幅跳び用の砂場の所で活動しています。

ソフトボール部

私達の部は、二年生がいまません。したがって、一年生だけで練習をしています。が、その一年も人数が少なく、ちょくちょく練習がなくなったりしています。けれども活動しているときは、一年生だけでがんばっています。いっどこでやっているの？なんていうそのあなたノ目をよくよくこらしてみてください。ソフト部がいるところだけ、光り輝いているはずですよ。次に活動日のことへいきます。活動日は月・水・金で月二回の割合で土曜日に活動をしています。主な活動内容は、キャッチボール・ノック・フリーバッティングなどさまざまな練習をしています。練習はぜんぜん厳しくないのです。勉強にさしかかえもなく、くたくたになることもありません。ソフトや野球など球技に興味のあるあなたは、迷わずソフト部へ来るべきです。部内も明るくて、わきあいあいとしているので、緊張することはありません。運動部でレギュラーをねらっている人はすぐどうぞ。そして、これをみてやりたくなった人も。

バットとボールとグローブがまっていますよ。

（二C 町田 温枝）

男子バスケットボール部

僕たち、男子バスケット部は、毎週、月曜日、火曜日、水曜日、土曜日に、大体育館の半分を女バスといっしょに使って、活動しています。部員数は、一年十五人、二年十二人です。

練習内容は、始め体操してから、ランニングシュート、二対一、三対二、三対三、フリースロー、シューティングをして、余った時間は、ハーフコートで五対五や試合をします。土曜日は、他の日より時間があるので、他にもいろいろなことをやります。こうして見ると初心者の方は、ついて行けないと思いますが、初心者には、二年が基礎から教えるので、心配いりません。

夏練や合宿はつらいけど、みんな一、二年いっしょになつて、仲良くなれるので、楽しく活動しています。

目標は、三回戦まで行くことです。でも、とりあえずは一回戦突破です。

とにかく、僕たちの部活は楽しくできるし、マネージャーもかわいいで……部活にまだ入っていない人がいたら、ぜひ一度見に来てください。

(二C 藤崎 真一)



水泳部

松原高校の水泳部とは、元来、明るい者の集まりではないように思われました。正直言えば、数年前まではいわゆる「オタク」と呼ばれる偉大なる先輩方のパラダイスでした。でも、ここ一・二年、水泳部は変わってきた様です。まず、自分の身の回りにいる水泳部員を見て下さい。普通の人ではありませんか？そう、だんだんおもしろく、見栄えのする部になり、活動も盛んになったのです。今年の夏には今までにない、明るく楽しい部活動が繰り広げられました。気温の上昇と共に、ボルテージも最高潮に達した部員達は、一方ではシンクロの特訓、一方ではラグビー観戦と、独自のメニューを着々とこなしていたようです。プールサイドには扇風機をいじると激怒するかわいいマネージャーの声や響き渡り、所かまわず着替える赤団の団長のオシリを見た嬉しそうな三年生の先輩方、水着で走りまわるグラマーな副部長、ただのそのそとプールの中を歩きまわり「トド」と称された某部のエース等々、アクの強いメンバーが顔を並べております。めったに出てこない部員もなかなかのキャラクターを持っており、入部してみる価値はあると思います。皆さん今すぐ入部して、来年はプールサイドで熱く夏を過ごしましょう。

(二E 清水 優子)

女子バスケットボール部

私達女子バスケットボール部は、二年生五人、一年生九人、マネージャー三人で結成されています。活動日は、月・火・水・土が体育館、木曜日は外練になります。

練習日は多いのですが、時間が三時半から五時までと短いため、つめた練習がなかなかできないのが悩みです。練習内容は、月に一度ミーティングを開き、みんなの意見を基に考えていきたいと思っています。今月は、すでにチームプレーの練習に入っていないといけない時期なのですが、まだ基礎がちゃんとできていないという事で、フットワークを中心とした基礎練習をやっています。そして、一対一が全体的に弱いので、そのあとに一対一の練習をやつて、二対一・三対二・三対三というように続いています。

それから、月に一度ミーティングを開くときに、各自一カ月の間の目標を決めるようにしています。まだ始めたばかりでどうなるかはわからないけれど、少しでも各自の欠点が直せてうまくなればいいと思っています。

あとは、練習を重ね、みんなでまとまり、三部をねらうためにがんばって行きたいと思っています。

(二B 長尾 郁子)

ブラスバンド部

こんにちは。僕達ブラスバンド部は毎日吹きまくってます。楽器をね。活動内容は個人練、パート練・セクション練から合奏へと移っていきます。なんせ大所帯なものでセクション練などをキチンとやっておかないと合奏でお話にならないのです。でも高校に入ってから始めた人もたくさんいて、その人達に話をきいてみました。

「気苦労も多いけど、やさしい先輩や楽しい仲間がたくさんいて充実しています。」

「楽器が吹けるようになって人生に一味加わったなあ」というように初心者も大歓迎。部員一同で楽器のイロハからお教えます。中学でブラスバンドだった人も途中でやめてしまふのはもったいないので是非高校でも続けて下さい。

実はひそかにヒーロー願望のあるあなた、

ひまをもてあましてる君、

音楽室に我がもの顔で出入りしたい人、

心の中の情熱をぶつけるモノが見つからない人、

みんなの注目を浴びたい目立ちたがり屋のキミ、

僕たちと一緒に青春のハーモニーを創り出そう、

(二D 田村 圭輔 + α)

男子サッカー部

一つのボールを追いかけて、校庭を走り回る、そんなサッカー好きが集まっているのが、我々サッカー部です。好きな奴らが集っただけあって月・火・木・金の週四回の練習もなんのその、春・夏それぞれの大会と秋の新人戦を目標に頑張っています。

さて、その練習内容ですが、パス・ヘディングといった基礎をはじめ、シュート練習やミニゲーム、試合がせまってくるを実戦に近いフォーメーション、紅白戦といったところ。毎回同じ練習では多少(!?)だらけてしまうことがあって、気合いを入れるべく、ダッシュとかをやるのだけれど、これが辛かったりするわけです。(まあ、多少辛くともヤル気があればなんとかなります。)

そして団体競技で大切なのはやっぱり、チームワーク!!でそれを養うため、常日ごろからの部活内の親しい雰囲気、夏休みの合宿ではさらに先輩・後輩がうちとけ、チーム一丸となっていくのです。

こんな部活ですから、興味のある人、初心者でも経験者でもヤル気のある人、サッカーが好きなのは入部してくだい。そして最後に一言、「Jリーグ・ばんざーい!!」

(二D 高柳 康生)

物理部

物理部などと言うと急にいかめしくなってしまうのだが、なにも教科書を開いて勉強するのではなくて、うちでは電子工作(エレクトロニクス)をするのが主です。本を見て自分の気に入ったものを作ればよいので別に強制はしていません。それに本を見ながらやれるのでコツをつかめば、楽しくできて、役に立つものができてくる。だんだん慣れてくれば本の内容に自分のアイデアをプラスして、自分だけのものが作れるようになってくると、おもしろくてたまらない。

また、この部ではパソコンの方もやっていて、電子工作は苦手だけれどもパソコンをやってみたいと言う場合も、入ってみてはいかがですか。大きなイベントとしては、輝松祭での出品である。これを目標にがんばってみるのもよいと思います。

活動日は、原則として、月・火・木ですが自分の好きな時に来て活動することもできます。活動場所は物理室で放課後にやっています。ぜひ見学に来てみてはいかがでしょうか?(P. S F M タウンズ C X 20 が今あるぞ!)

(二A 矢沢 隆行)

女子サッカー部

私達女子サッカー部は、二年八人・一年五人の部活です。“女子サッカーなんてあったの?”と思っている人はいませんか。三年前くらいにできた部で男子と一緒に練習しているので知らない人もいるかもしれませんが、昨年の二月に初めての試合もしているのです。初心者だった部員も沢山練習をして試合にのぞんでいます。

高校の女子サッカー部は、かぞえられるくらいしかありません。ですから、試合はほとんどリーグ戦です。もう、あと何年かしたら、女子サッカーは大流行になることでしょ。そういうことも考えて、今のうちからスポーツの最先端をいく女子サッカー部に入りましょう。

“初心者だし、今から入っても大丈夫かなあ”と思っているそのあなた、心配御無用、部員は全員初心者です。途中から入ってもはじめから教えますよ。

土・日は、試合がない限り休みなので、デートの約束もOKです。みんなでサッカーをして一緒にいい汗をかこう。とにかく一度見に来てください。部員一同、お待ちしております。



(二F 中西 れい子)

剣道部

私たち剣道部は、元気で、明るく楽しい部活です。かと言って練習をだらだらとめりはりなくやっているわけではありません。僕ら二年生が指導者となって、またOBや先輩が先生となって私たちにいろいろな事を教えてくださいます。時には、厳しく怒られ、またしごかれるかもしれませんが。しかし、剣道は、一対一の格闘技、どちらかが勝ちどちらかが負けです。やはり勝つためには、相手よりも体力、精神、技術の面で上でなければなりません。そうなるためには、つまり試合に勝つには、人一倍の練習が必要となります。そういう面で剣道の練習は、球技などの部活の練習とは違う厳しさがあります。しかし、その厳しさやつらさに打ち勝つことによって強くなり、そうなれば試合などに確実にその証拠があらわれます。とりあえずこのような事をもとに僕たちは、毎日がんばっていますが、しかし剣道部は、厳しいばかりではありません。先輩・後輩の関係もほとんどなく仲良くやっていますし、まあ、かっこいい人はいませんが、面白い奴ばかりそろっています。それは、OBや先輩方にもいえます。練習日は、月・火・水・木・金です。とにかく、明るく楽しくまたとても強い連中ばかりそろってますので一度、剣道場に来てください。

(二E 浜田 恭平)

野球部

我々が野球部の個性豊かなメンバーを紹介します。
四番セントターのN明は、途中入部にもかかわらず副キャプテンで、プレッシャーに弱いカバティ男である。エースのK一郎君は野球部一の長身で、見るたびに様子が変わっていく。キャッチャーのK君は野球部一の心配性である。ファーストのK君はかりあげくんに似ているとひそかにささやかれている。セカンドのM君は無口だが歯ブラシのCMに出てきそうなほどさわやかな白い歯の持ち主である。同じくセカンドのT光君とシヨートのほうずはカップルのように仲がよく、いつも何を話しているのか野球部の七不思議の一つでもある。ちなみにぼうずとMGのE子とは出会ったときから戦争をしている。サードのY君は、多少のけがにもへこたれず練習に参加するガッツマンである。レフトのR平君は年上の女にいいともてるダンディー野郎である。ライトのJ・Tは数々のいじめにも負けず、たまにストリップバーのような美声を出す野球部一のキャラクターである。この個性派集団をまとめるのはキャプテンのO君である。O君は他人に厳しく自分に甘いお調子者であるがこよなく野球を愛す、頼りになる(?)キャプテンである。ちなみに去年の夏季大会の成績は三回戦まで進出したので今年はそれ以上の成績を残せるよう日々努力している。

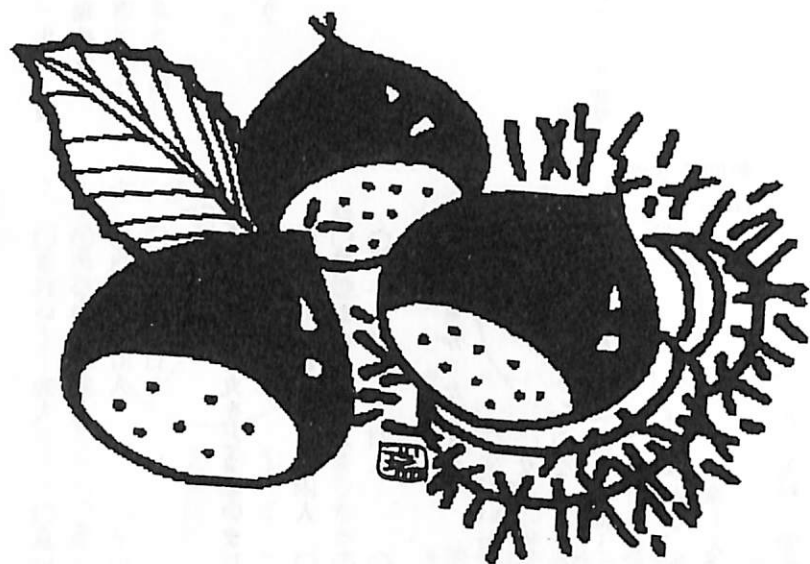
(二B 岡林 真)

卓球部

部長ではなく、先生が引つ張る我が部は、昨年とは違い部員もかなり増えてきました。
練習日は、週四日(月・水・木・土)で、給食棟の二階の卓球場で練習しています。内容は基本練習から攻撃練習、試合などさまざまで、自分のやりたい練習ができますし土曜日は顧問の四家井先生(しかいせんせい)が、つきつきりで教えてくれます...?
昨年同様、実力者も多数いますし、初心者もかなりうまくなっています。
人数は毎年ギリギリですが、夏の合宿は、OB・OGなども多数参加してくださり、楽しい合宿を味わうことができ、心に残る一ページになるでしょう。
もちろん女子もうちの部活でがんばっています。彼女は下手の中の下手でしたが、先生や先輩の丁寧な練習のおかげで、この僕をおびやかすほどになっています。
男子・女子問わず募集しているので、入部希望の方は、卓球部へくるか、数学科の四家井先生までどうぞ。

(二F 三浦 馨)

行事報告

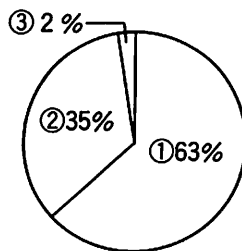


入学式

桜舞う日大通りを晴々しい笑顔で登校した新一年生。彼らはすぐに友達を作り、それぞれの思いを胸に秘め(?)、入学式という名の戦いに出陣したのです。さてさて……

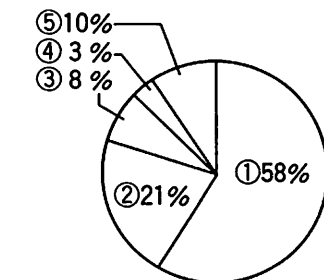
①入学式の日は何を着てきましたか？

・無回答の人は何を
着て来たのでしょうか？



②入学式はどうでしたか？

現代人は体力がない！
あんな華々しい入退場で、
つまらないんですか？



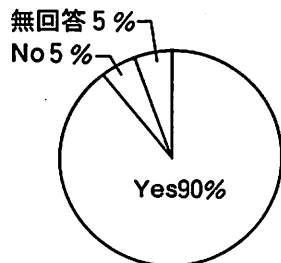
③松原高校を見てどう思いましたか？

○きれい……	39人	○良い……	26人
○汚ない……	37人	○楽しい……	22人
○自由……	37人	○その他……	54人
○普通……	33人		

④入学式の日のお昼をどう思いましたか？

○何とも思わない……	144人	○日本だなあ……	8人
○見てない……	31人	○その他……	16人
○いいと思う……	23人	○無回答……	9人

⑤共学で良かったですか？



○楽しいから……70人
○女子(男子)がいるから……63人
○なんとなく……22人
○その他……46人
○無回答……39人
みんな、高校生活を
楽しんでるようです。

一 A	矢村 宏太	一 B	宮澤 典子
一 A	木部裕美子	一 C	小山 功記
一 B	相澤 嘉伸	一 C	福本 千穂

遠足(一年生)

灰にまみれた飯盒飯糰

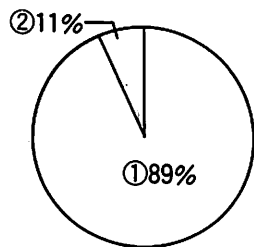
平成四年五月八日金曜日、天気予報に裏切られ、傘を片手に出発した若者たちは、重い材料をさげて鳩の巣パンガロ1にたどりついた。強風にあおられ、ガンガン照りつける太陽の下、若者たちはそれぞれにちらばっていった。

野生カルガモに見守られ(?)カマドへ向う者たちの昼食作りが始まった。枯れ葉がまぎれこむ作業の中、はたしてまともな食べ物にありつける班はあるのか!?

さあ、空っ腹で帰らないために……。

Let's go!

Q. 遠足は楽しかったですか？



・灰にまみれ、野菜と格闘しながらも、みんな楽しい一日をすごしたようですね。

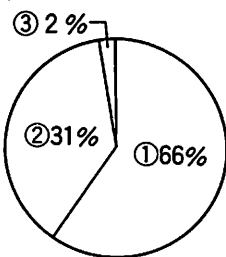
Q. お昼は何をつくりましたか？

- やきそば……86人
- お好み焼き……65人
- やき肉……50人
- カレー……34人
- バーベキュー……23人
- チャーハン……12人
- 無し(?)……13人

●その他

●焼そばやお好み焼きなどの定番メニューが、やはり上位を占めました。しかし、次のアンケートの結果を見ると、3分の1の人は料理がうまくできなかったと答えました。作っても食べられなかった人もいるはず！

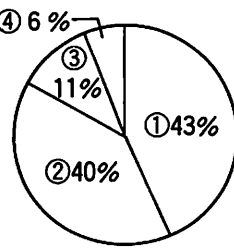
Q. 料理はうまくできましたか？



①うまくできた
②うまくできなかった
③無回答

・上手く出来た人はもちろん、出来なかった人も、青空の下、汗水流して、いい思い出になったでしょう。

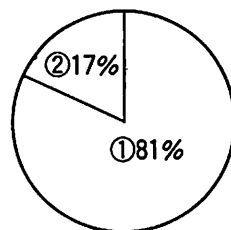
Q. レクは何をしましたか？



・何もしていないというのが多いようです。
その他が多い。ハンパはイケナイ、ハンパは！

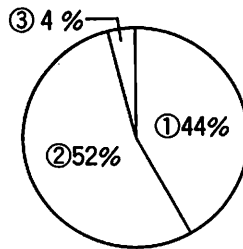


Q. 班の人と仲良く出来ましたか？

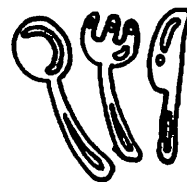


各クラス、ほとんどの人が仲良くできたようですね。
仲良くできなかった人はいったい何が？

Q. また行きたいと思いますか？



「楽しかった」という答えが多かったわりには、「もう行きたくない」という人が半数以上を占めてしまいました。
たが、みんな良い思い出をつくれたようですね。



まだ名前を覚えていない人もいます中、鳩の巣バンガローでの悪戦苦闘の数時間。この遠足で友達があえた人が多かったのではないのでしょうか？とにかくおいしい昼食をつくった人達も灰やザンパンをつくってしまった人達も、楽しい一日になったようです。

(一D 吉川 祐史 一D 安井 更織)
(一E 田中 浩二 一E 吉澤みゆき)
(一F 武政 悟 一F 江口奈衣留)

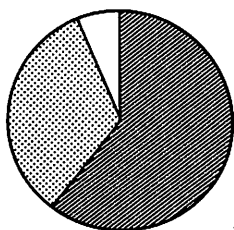
二年遠足

2 in y o k o h a m a

平成四年五月八日、心配されていた天気も予想外の^おおまけに強風が吹き荒れ、私達の横浜遠足を風まで祝福してくれていた。そんな中、各班のとてもない計画が実行されることになった。横浜といえば、遠いようでいっばいん近い異郷(?)の地。それぞれの想い(自宅の庭のような気分。全く見知らぬ所へ連れて行かれるような気分。etc...)を胸に、班行動という形で、皆それぞれ、横浜の街に吸い込まれるように消えていった...。

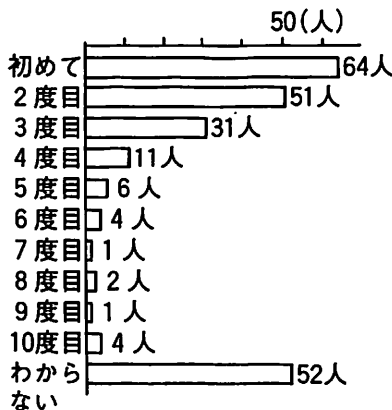
そこで、無事戻ってきた皆に、次のようなアンケートに答えてもらいました。

Q. 遠足は楽しかったですか？



という理由で、Yesと答えてくれた人が多く、うれしい結果となりました！

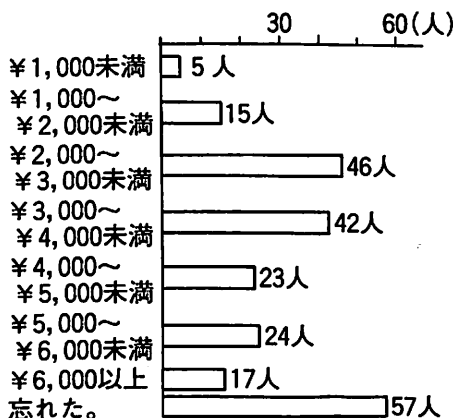
Q. 横浜は何回目ですか？



「初めて」という人がとても多かった。案外、みなさん、行かないんですね。(笑)



お金をたくさん使った人は、やはり、中華街で、「あれ」を買ったのでしょうか？ 食べ過ぎには注意ですよ！



Q. どこを見学しましたか？

1位	中華街	85人	☆その他に:
2位	山下公園	68人	“ブリキのおもちや
3位	横浜開港資料館	38人	の博物館”、外人墓地
4位	神奈川県立博物館	25人	“近代文学館”、岩崎
5位	横浜美術館	22人	博物館“etc”があ
6位	マリニタワー	20人	りました。
7位	シンボルタワー	16人	
8位	港の見える丘公園	10人	
9位	シルク博物館	8人	
10位	人形の家	6人	

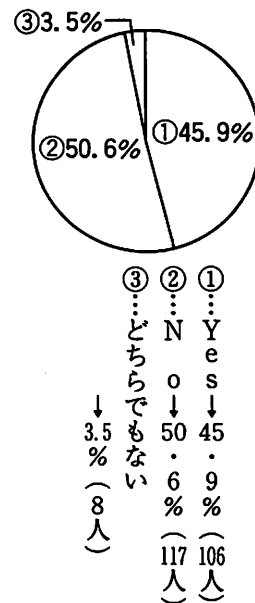
Q. 心に残ったことは何ですか？

- 1位 中華街での昼食
 - 2位 風が強かった
 - 3位 海(景色が良かった♡)
 - 4位 疲れた
 - 5位 全部
 - 6位 特にない
- 33人
31人
18人
17人
7人
6人

☆他にも、道に迷ったこと・注文を忘れられていたこと
ボーリングをしたことetc.がありました。でも、
“特にない”が一番多かったのは残念だなあ！



Q. 班の人と協力して予定どおり行動できましたか？



*これを各クラスごとに見てみると……

—A組—			—B組—			—C組—			—D組—		
①	16人		①	15人		①	22人		①	26人	
②	20人		②	25人		②	12人		②	12人	
③	3人		③	0人		③	2人		③	2人	
—E組—			—F組—								
①	15人		①	12人							
②	24人		②	24人							
③	2人		③	0人							

…この結果は、班のメンバー
を出席番号順で決めたので
しかたないでしょう！

風のととても強い日でしたけど、みなさんにとって
楽しい思い出になったことでしょう。

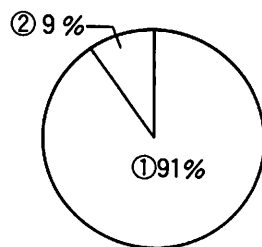
(二D 飯塚あす香)
(二D 北脇 志麻)

三年生の遠足

私達三年生は、五月八日に「東京ディズニーランド」に行きました。当日は風が強かったけれど絶好の遠足日和でどのアトラクションも長蛇の列でした。園内を歩き回って疲れたけれど、それぞれに思い出に残ったと思います。

次は、後で三年生の皆さんに答えてもらったアンケートの集計結果です。

1. 楽しかったですか？

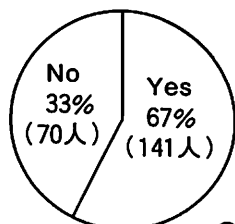


① Yes
② No

みんな楽しんだそうですね！

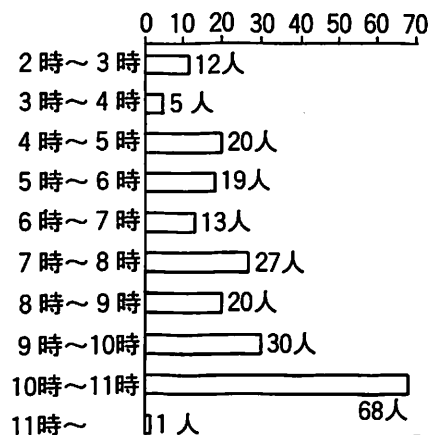
2. 平日なのに人が多いと思いますか？

○回答者211人



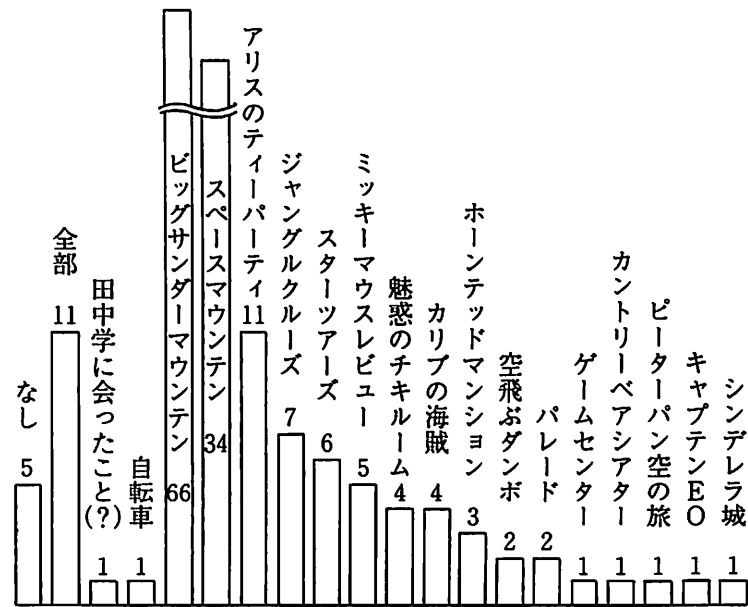
○平日であったにもかかわらず結構混雑していて、とても人気があったアトラクションは、かなり時間を費やしてやっと順番がきたという人も多かったと思います。でも待った分だけ楽しさも倍増したのではないでしうか？

3. 何時頃まで残っていましたか？

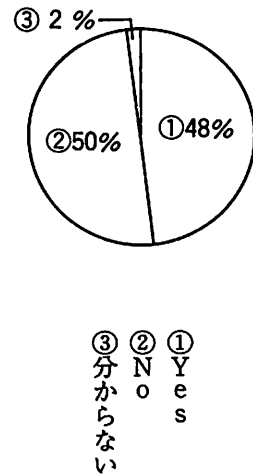


○夜遅くまで残っていた人が、かなりいたようです。きっと東京ディズニーランドで良い思い出が、できたのではないかと思います！

4. アトラクションは何か一番おもしろかったですか？



5. 遊園地はディズニールランドが一番だと思いましたか？



・ほぼ半分に意見が別れましたが、遊園地はいくつもあるのでディズニールランドが一番人気があると考えられるでしょう。まあ、規模が大きいですからね。

以上がアンケートの集計結果ですが、皆さん、それぞれ図や数字に表われない思い出があったと思います。受験の心配もこの日ばかりは忘れていた人も多いでしょう。友達と「もうダメだ!」と言う位はしゃいだ人もいたでしょう。高いお金を親に出してもらったのですから、それ位しくはもったいない、と私は思います。

何十年か後に、この日のことを、思い出してみてください。冷たい社会に慣れて色彩の乏しくなった心に、鮮やかな色彩が楽しかった記憶とともに蘇るはずです。(ちよつとキザかな?)

(三A 杉本 真義 三B 佐々木 伸一郎)
(三C 宮腰 三穂 三D 山崎 満恵)

体育祭の結果

五月十六日(土)、灰色の空の中ではじまった体育祭は、雨のため開会式だけで終わってしまった。翌日の十七日(日)は青空の中、全校体操からはじまった。校庭は今までにない程の最悪な状態で心配だったけれども、先生方や生徒たちのおかげで、例年通りの活気と盛り上がりのある体育祭になりました。

各競技の結果

女子100メートル走

〈一年〉

- 1位 一E 大橋 弥生
- 2位 一C 星野 智子
- 3位 一F 狩野 恭子

〈二年〉

- 1位 二F 中西 れい子
- 2位 二B 飯川 由理子
- 3位 二E 長谷川 優子

〈三年〉

- 1位 三A 土堂 久美子
- 2位 三B 世利 夏子
- 3位 三F 林 智加子

男子100メートル走

〈一年〉

- 1位 一E 小林 直斗
- 2位 一E 岩添 美剛
- 3位 一C 三宅 秀朋

〈二年〉

- 1位 二F 巴山 謙一
- 2位 二F 今泉 謙次
- 3位 二C 佐藤 秀樹

〈三年〉

- 1位 三B 藤間 祐介
- 2位 三D 平野 康広
- 3位 三A 村上 孔紀

全員リレー

〈一年〉

- 1位 一E
- 2位 一B
- 3位 一F

〈二年〉

- 1位 二C
- 2位 二B
- 3位 二E

〈三年〉

- 1位 三B
- 2位 三F
- 3位 三E

男子走り高跳び

- 1位 三C 加藤 晃 1 m 80 cm
- 2位 三E 菅沼 伸多 1 m 65 cm
- 3位 三B 谷口 慶一 1 m 50 cm

女子走り高跳び

- 1位 二B 飯川 由理子 1 m 40 cm
- 2位 一F 石松 麻里子 1 m 35 cm
- 3位 二D 奥谷 和子 1 m 20 cm

女子400メートルリレー

〈一年〉

- 1位 一B 1分03秒00
- 2位 一F 1分04秒00
- 3位 一A 1分05秒00

〈二年〉

- 1位 二B 1分03秒00
- 2位 二D 1分05秒08
- 3位 二C 1分05秒09



スウェーデンリレー

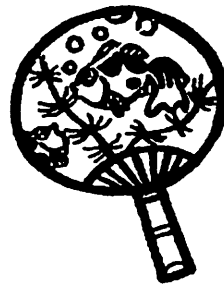
・この競技は、第一走者が100M、第二走者が200M、第三走者が300M、第四走者が400Mで合計1000Mを、四人一チームで走る競技です。

〈一年〉			〈二年〉			〈三年〉		
1位	一E		1位	二C		1位	三D	
2位	一C		2位	二D		2位	三F	
3位	一D		3位	二F		3位	三A	

今年度の体育祭は、昨年惜しくも準優勝だった白団の優勝で幕を閉じました。昨年度までは、日曜日に行われていましたが、今年度は、土曜日に行う予定だったので、競技数が少ないのではという声もありました。また、一部ハブニングもありましたが、皆さんはどうだったでしょうか。今年度載った人も、載らなかった人も、来年はがんばりましょう。

なお、男女100m走では、正確なタイムが出ていないため、載せることができなかった事をお詫びいたします。

また三年生は、最後の体育祭になりました。来年は是非我校へ遊びに来てください。



二B	永井 雄作
二B	清田 智人
二E	竹柴 佐枝
二E	佐藤 典子
二F	佐藤 朋子

白組応援団

(団長 三D 平野 康広)

五月の強い陽射しがやわらいできました。体育祭が終わろうとしているいま、彼の表情にも笑顔が戻った。

勝利を目指し信じ続けた一カ月。彼には彼の信じぬいたやり方があった。誤解されたこともあった。挫折しそうになったこともあったが、彼は彼の持っている力のすべてを発揮できたことと信じていたことが正しかったとわかった。いま、それだけでも団長になったことをとても幸せに感じ、副団長以下、団員みんなに感謝の気持ちでいっぱいだった。白団の優勝が告げられたとき、不覚にも彼の頬に熱いものがつたっていた。

(副団長 三D 梅田 恵)

今でもあんな逆転優勝したのが信じられない。当日まではめちゃくちゃ大変だったけどそれもいい思い出です。この「応援団」というのは松高の伝統です。私達でくずしちゃったところもあるから、在校生のみんなで立派につづけていってください。ダブッてもう一度体育祭やりたい。精一杯がんばって優勝したこと忘れないでね。ほんとにみんなどうもありがとう。それと団長の平野君には、いっぱい迷惑をかけました。感謝してます。

来年も白団が優勝だ！

青組応援団

(団長 三B 鈴木 俊介)

三年生にとっては最後の体育祭が終わってしまった。結果だけを見れば三位と不本意な成績であったが、三年間を振り返って見ても、三年生はやはり今年の体育祭が一番に残ったと思います。練習の時から団長がしっかりしなかったため、うまくまとまらず大変でした。でも、三年生も、一、二年生も、最後までついてきてくれて本当にどうもありがとう。三年生は最後の体育祭で、優勝できなかったが、来年こそは青組応援団を、優勝に導くように、一、二年の後輩にガンバッテもらいたいです。

(副団長 三A 高橋 美知)

去年の優勝の感動から一年。三年生は特に、今回の体育祭でその感動を味わいたかったと思います。今年は去年より練習時間が短かったから、練習がキツくて初めての一年生には特に大変だったと思います。二年生は部活と両立するのが大変そうでした。三年生は衣装の買い出しなど、色々な面で頼りない私を支えてくれました。みなさん、本当にありがとう。心から感謝しています。結果はどうあれ、みんながまとまって一つの事を成し遂げようとしたパワーはすごかったと思います。来年こそ私達が取り返せなかった優勝旗を取り返してください。

赤組応援団

(団長 三F 周藤 洋二)

今年は種目は少なかったけど最初から最後まで盛り上がりっぱなしで、とても楽しく、悔いのない体育祭でした。一、二年の皆さんは来年もがんばってください。

(旗持 三E 井原 信)

今年も体育祭は楽しいものだった。悔いがあってもなくても。来年も楽しい体育祭にしてください。

「燃えて散るのは花・夢で咲くのが恋・一人咲き」
(赤・青・白組リーダー 三F 中村 康)

とびだせ!! 釣り仲間

(副団長 三F 小林 亜里)

一年の時から応援団をやって、今年は、赤組応援団の副団長をやらせてもらいました。一、二年のときも楽しかったですが、今年は、まとめる立場という事もあって大変で苦労しました。その分、楽しい体育祭でいい思い出です。応援団は体育祭を盛り上げるには、必要だし、自分の中で体育祭をいい思い出にするにはかせないと思います。来年も一、二年の人はがんばってくださいね。

赤組来年は優勝しよう。

輝松祭

Aグループ(劇)

- 一年A組 「美女とやくざ」
- 一年B組 「真似」第2弾
- 一年C組 「白雪姫」
- 一年D組 「ローマの休日」
- 一年E組 「サザエさん」
- 一年F組 「ルパン三世とゆかいな仲間達」
- 二年C組 「夢からさめた夢」
- 二年E組 「ヘンゼルとグレーテル」

Bグループ(展示・模擬店・その他)

- 二年A組 「Let's Sing KARAOKE」
- 二年B組 カラオケ・イントロクイズ
- 二年D組 エデンの園
- 二年F組 ディスコ
- 三年A組 耶揚子の甘味処&ゲーム
- 三年B組 W.I.O(ウィック)
- 三年C組 お菓子屋
- 三年D組 屋台
- 三年E組 そば・うどんwithショータイム
- 三年F組 パンケーキ&喫茶

Cグループ(劇・合唱・演奏など)

- 演劇部 不思議なクリスマスマスのつくりかた
- 合唱部 歌おう心の旅
- 吹奏楽部 演奏会
- 軽音楽部 演奏会
- 音楽科 合唱as
- 演劇有志 演劇・「奇跡の人」
- エーデルワイス 合唱

Dグループ(展示など)

- 華道部 展示
- 物理部 水ロケットを飛ばそうよ
- 生物部 金魚すくい
- ア二研 展示会
- クッキング部 スイートポテト販売
- 整美委員会 空き缶による輝松祭のパネル
- 図書委員会 シネマ・松高
- 保健委員会 展示
- 放送委員会 占い部屋
- 美術科 展示
- 書道科 心象表現

今年の輝松祭は、それぞれのグループに分かれて、審査されましたが、以上が、各団体の出し物と最優秀賞・優秀賞の一覧です。

美女とやくざ (一A)

私たちのクラスは、文化祭には早めに取りかかり、台本は早くできました。配役を決めるのに時間はかかりましたがなんとか決まり、そして劇に取り組みました。最初のころは集まりが悪く、本場に劇ができるのかわからなくなるような状態が続ききました。しかし九月に入り、皆、だんだん集まるようになり、セリフもだんだん覚えてきました。前日にはなんとか、劇ができるようになり、大道具もでき上がりました。

文化祭当日、朝七時に集まり、一回りハールサルをやり、本番を待ちました。待っている間、お客さんが入るのかとか本場に劇はできるのかという不安でしたが、そうこうしているうちに本番が来ました。本番が始まり最初は皆緊張しましたが一つ笑いをとってからは、それとどきれ、一日目は大成功でした。二日目は、一日目の成功の勢いもあり、少々とまどったところもありましたがなんとか成功しました。

文化祭前はどうか不安でしたが、最終的にはうまくいきました。こういうところにA組のすごさが伺えたような気がします。

(一A 小林 覚・田中 佐和)

一年B組(真似)

名前の通り、神父・すけのしん・メロス・ラーメン屋・グレーテル・松本ちあき・ジャイアンなどあらゆる分野からあらゆる人物を引っぱってきて構成した「真似」は、みごとに両日満席でした。

最初、みんなあまりヤル気がなくて、本番一週間ほど前から議長などを中心に全員でやり出したので、セリフを覚える、音楽を選ぶ、照明の点検、大道具を作る、衣装を選んで作ると二、三日前は教室や視聴覚室の中はもうすごかった。その二、三日前でも、すぐに視聴覚室を使って、練習が出来なかつたりしてあきていた人もずい分いたが、使えらるとなると皆すごく変わってきて充実していた。

○神父のおどりだすシーン、この一Bでしか見られない。
○公演中にキャストから「あめ」がもらえるなんていうのも一Bしかなかったはず...

○ピコマンが見れるのも一Bだけ。

○ジャイアンのおどりが見れるのも一Bだけだっと思う。

なにをとってもonlyの一Bのみなさん、本当にご苦勞様でした。

(一B 加藤 由紀)

白雪姫

私達一年C組は、まとめる人がいなかったせいもあってか、文化祭に近づいてきたにもかかわらずにも決まっていませんでした。そんな一年C組でしたが、だんだんみんなあせり初めて毎日のように、下高井戸や三軒茶屋などのマクドナルドに集まりみんなで決めたかいがあって、やっと、「白雪姫一年C組版！」が出来あがりました。なお毎日のようにマクドナルドに行っていたのでお金がなくなる人が続出しました。(みんなが使ったお金をたすと、十万はいると思います。)そして当日は、三回とも満員で立ち見の人まで出たうえに、あまりにもこんでいたので帰ってしまう人まで出たほどのです。(入って見られなかった人どうもすいませんでした。)

みんなに感想を聞きました。

- 白雪姫……わたしは世界で一番美しいのよ。
- ナレーター……ンイヤ!ンイヤ!ンイヤ!
- 小人………リングが食べれてよかったです。
- 衣装………ほうしがかわいかった。
- 大道具………めんどくさかったよー。
- 王子………おれのおかげで大成功?

この文化祭をとおして、みんなで協力することやクラスの団結も生まれ、大変思い出に残る文化祭になりました。

(一C 飯塚 千弘)

ローマの休日現代版・下北沢の休日

うちあけ話

我が一年D組が「ローマの休日」に決定したのは、確か一学期の終わりだったと思う。その後、クラス有志が放課後集まって映画のビデオからそのまま台本を書きおこして、それを基に散々もめた末、決定した。

しかしその後、内容のカットなどがあり、実際に全員に台本が渡ったのは、文化祭が二週間前と迫った九月のことだった。夏休み中の集まりには、かなりの人数が出席してくれたが、出来上ったのは看板のみという結果になり、はつきりいって大変あせった。練習も全くとおらず、劇の上演は無理ではないかとの判断となり、ビデオ映画制作ということに改めて決定した。

それからというものは、今までの台本を大幅に短縮し、新しい台本を一夜で書き上げた。

我がクラスに残された日数は約一週間、それから撮影を下北沢・下高井戸ロケを含め五日間で行った。しかし、この間に役を下りる人が続出し、代役を立てられないシーンは、すべてカットとなり大変短かいものになってしまった。編集は三時間半で行い、最後の望みをかけたが、力及ばず生徒の投票数票という結果に終わってしまったことが、大変残念に思う。来年はそれぞれ新しいクラスで、今年の屈辱をはらしてほしいです。

(一D 花谷 知美)

一年E組サザエさん

毎年何処かは必ず「サザエさん劇」をやる無気力なクラスがある、という話を聞いた。なるほど確かに、何をやるかを決めるHRでの一Eの無気力さは笑っちゃうほどだった。他のクラスでは話し合いが進み、セツトなんか制作している頃、私たちは配役についてモメたりしていた。これはいかん!ひとつ私が立ち上がって、皆をリードせねば!などと思う人物は全く無く、夏休みに入った。なにも出来てないくせに集まる予定も立てず、文化祭準備期間の貴重な四十日は去っていった。

二学期に入り、突然開眼した男子数名により、サザエさんは成功に導かれた。台本・舞台装置(なんてなかったけど)、大道具などが着々と計画を立てて、あわただしく本番に突入した。幾多のハプニングを乗り越え、素晴らしい快挙だった。

十九日。ちびつと客が入り終わった。二十日。「昨日があんなもんだったからどーせ今日も。」という予想を大きく上回った客の入りがあった。

こうして長谷川町子の冥福を祈りつつサザエさんを演じる会は静かに幕を下ろしたのでした。よかったねみんな。

(一E 内田 右子)

一年F組の文化祭

うちのクラスが、本格的に活動を開始したのは、なんと文化祭の五日前だったのです。なぜこんなに遅くなったしまったかといえば、ひとえにそれは、脚本がうまく書けなかったからです……自分のせい。

この劇を決定したのは、一学期のことでした。この時はまだみんな、文化祭のことを、そんなに真剣に考えていなかったと思います。決め方もこんなふうでした。

「ねえねえ、あれ、なんかやってみない(笑)。」

「ああ、あれ、はいいいかもしれないね、ところでさ。」

「じゃ、やつぱり、これに決まりだよ。」

「考えてみれば、これ、って見なかったよなあ。」

などというふうな、候補としてでてきたものをまとめ、それをクラスのみんなに多数決で選んでもらいました……このことが一番重要だということも忘れて……。

とにかく、この無謀とも思えた劇が、無事(?)に行うことができたのも、クラスのみんながまとまり協力してくれたからだと思います。本当にありがとうございました。

(一F 奥村 智)



二年A組

私達二年A組は、カラオケをやりました。それもただのカラオケではなくて、『食券強奪』という特典をつけました。これは、三年生の模擬店をやるクラスから食券を買い、音の高低を変えずに歌ってもらい、私達のクラスから選んだ審査員三人に審査してもらおうというものです。歌う本人はもちろんのこと、客席の皆も楽しく、そして何より私達A組のメンバーが楽しくやっていくことができました。終わった後、ものすごく『やあーっ頑張ったなあ』と感じるほどです。

しかし、ここにたどりつくまでにはものすごい苦労がありました。何をやるかはすぐ決まったのですが、そこからが発展せず、最後の方では泣く人や夜遅くまで働いている人が出てきました。それでも本当の最後で成功したのは、クラスの皆の団結だったと思います。普段はあまり話すことのない人達が一つになって働いているのは見ていても嬉しいし、その中に自分がいるということが何より嬉しくて本番がいくらどたばたでも、どんなに遅くまで残っていたても終わりが来ればすべて良しノです。

来年は最後の文化祭ですが、このメンバーでならきつと高校生活最後のイベントを楽しく過ごせると思いました。

(二A 藤島 睦)

二一Bの文化祭

我がクラスが「カラオケ・イントロクイズ」に決定したのは、七月のことであつた。その時点ですぐに「執行部」なるものが結成され、夏休みには、何回か集まり、選曲も決まったようであつた。

九月に入つて、本格的に活動を開始したものの、クラスの大半の人が、まだあまり「燃えてない」ようであつた。しかし、クラスでTシャツを作ることが決まつてから、我がクラスは燃え上がった。前日に行ったりハーサルも盛り上がり、僕はこの時点で成功を確信した。

そして当日。一日目は平日であつたことから、客の入りが少なかつたものの、なかなかの盛り上がりを見せ、成功のうちに幕を閉じた。二日目はクラスの一部の人の必死の呼び込み活動等の結果、会場となつた二一Bの教室は、立ち見の出るほどの超満員で、大盛況のうちに終わった。

結局、Bグループの優秀賞は取れなかつたが、後で聞いてみたら、支持率十四・五%の三位だつたそう。このような結果を出せたのも我がクラスの良さが出た例であつたのではないだろうかと思う。

(二B 清田 智之)

二年C組

♪愛をありがとう

愛をありがとう

やさしさをありがとう

やさしさありがとう

さみしいけれどさようなら

素敵な素敵なこの出会い

心と心が僕達をつないで いつか旅出つ

今旅立つわ

いつかがやく

かがやく

愛を胸に さよなら

(劇団四季・ミュージカル『夢から醒めた夢』より)

二年C組のミュージカル、いかがでしたでしょうか。右の歌は私達がミュージカルで歌った歌です。公演後、見ていってくれた人が、この歌を口ずさんでいるのを聞くと、とても嬉しくなりました。そして、クラスみんなが「成功させよう」という一つの目標に向かって努力し、その目標が達成された時の感激は言葉では言い表せないくらい大きく、また、忘れられない思い出になりました。

今回のミュージカルは、私達に、題名の通りとても素晴らしい夢を見せてくれたと思います。それではみなさん、今夜も夢の中でお会いしましょう。

(夢の配達人)

二年D組の文化祭

私達二年D組は、『エデンの園(くろ)』という、題名だけではさっぱり内容のつかめないゲームをやりました。

「うちのクラスって仲はいいし、みんな団結していいものできるんじゃない?」なんていうのん気な文化委員の思惑とはウラハラに、D組のみんなのヤル気は……

確かに前々から準備することはほとんどなかったけど、一週間前になつても放課後残るのは五人前後。

が、しかし、……前日のみんなのヤル気は、目を見張るものがありました。クラスみんなで頑張つたのです。おかげであの二一Dの教室が、あやしい雰囲気をもしたしなからも、すばらしくキレイな教室へと変身していったのです。

そして当日。いたいけな小学生の手を引っぱってくるなんてこともしてしまいましたが、二一Dのみんなの顔の広さと、大好評(?)だった我々が大山初雄先生のイラスト入りTシャツの効力で、大勢の方々が来てくださいました。内輪もりがあがりと言つてしまえばそれまでですけど、それはそれでよかったんじゃないかと思えます。では最後に……重い卓球台を運んでくれたり、苦勞しながらドアをはずしてくれた男の子達。花をたくさん作ってくれたり、前日は名前のアイロンプリントを作ってくれたりした女の子達。

二年D組のみなさん、本当に御苦勞様でした。

(二D 屋代 映子)

二年E組『魅せられて大道』だいどう

気があせるばかりの文化委員をよそに、わが二Eはいつまでたつても活動を始めない。無理矢理のアンケートで、「劇」ということに決め、有志の女の子達で台本を作成した。一本当に無理矢理である。こうして二Eの文化祭活動は開始された。ヘンゼル（竹本宏正君）とグレテル（馬淵マドナさん）を中心にくりひろげられたこの作品は、いろいろな童話を全部お見せしようというわけで、シンデレラあり白雪姫あり、親指姫あり……たくさん童話のパロディーにしてみたわけです。とにかくセリフ合わせは一週間前から、大道具の本格的な準備は前日というなんとまあ無謀なこと。まあ心配と不安の中、本番の時はやって来たのです。当日。それまでの成果（とはいっても即席だったけど……）をパツと出しきり大成功。成績も第二位ということでもみんな満足した様子。ホッとひと息ついた文化委員は、クラスみんな、そして先立って努力してくれた人達に大変感謝しています。個人的な感想としては、やっぱりアレですね。クラスみんなで歌ったあの歌ですね。

♪うちの担任ヤンヤヤヤヤヤHR長くて一生徒と結婚（以下省略）

御本人の前で歌った時は思わず、目が輝いてしまいました。（わがクラスの担任は、平井義見先生です。）

（二E 鈴木 美枝子）

二年F組の文化祭

二年F組の文化祭は「ディスコ」をしました。でも、二年F組のメンバーがおどるといふものになりました。

本格的に活動を開始したのは九月。もう文化祭……というのにしあがっているのはTシャツだけ。クラス内の装飾も残っているのです。前日になると八時まで残っていたという人もいました。本当に、五時まで帰ってしまった私は頭が上がりませんよ。すみません……

当日、お客さまの数がざっと七十名ノ小さい小さい教室に七十名も入ったのです。私たち裏方はもうびっくりたたださえ暑いのにとも思いました。しかしうれいすねー。自分たちが用意したものをよろこんで見られてる人を見る……

二日目、この日も人気で、昨日よりも多く入って、見れない人もいるくらいでした。

片づけはたいへんだったけど、グループで優秀賞をもらいました。

最後に個人的ですがダンサーの皆さん、そして都外からおもいスピーカーをもってきてくれた三浦くん、そしてその他の人々どうもありがとうノ三年になってもよい文化祭を……

（二F 山東 隆博）

三年A組

「耶楊子の甘味処」について

……こんなに繁盛するとは思わなかった。

私の率直な感想です。A組の大部分の人もそう思ったことでしょう。正直言って、去年の延長のようになってしまっただろうなあ、なんて思っていたのが、嘘のようにクラスが団結して準備の段階からトントントン拍子に物事が計画通りに進み、当日も売り上げ上々、完売することができました。お客さんは、在校生は勿論、各先生方や父兄の方々も来てくださった（少しおば様方が多かった?!）二日目は席を増やそうかという話まで出たほど、たくさんの方が食べに来てくれて、とてもうれしかったです。ありがとうございしました。

でもやっぱり一番感謝したのは早朝登校、居残りなどを積極的にしてくれて、当日もかかりつきりで頑張ってくれた調理係の人です。ご苦勞様でした。次に、とっても凝った和風の室内装飾をしてくれた装飾係さん、あの装飾は大好評でしたね。他の係の人もしゃんとがんばってくれてありがとう。優秀賞がもらえたのもみんなの頑張りがみのつたんだと思います。高校生活も残り少ないけれど、みんなの良い思い出になったことと思います。とっても楽しかったよノ

（三A 松下 真知子）

三年B組

今年の文化祭は三年生が、かなり良く活動していたと思う。やはり最高学年ということもあっただろうし、今年で最後という心構えがあったと思う。その甲斐があつてかなり充実したクラスの出し物が完成したと思う。

3年B組の出し物はW・I・Q（ウィック）といういろいろなゲームを組み合わせて一つのコーナーにした。結構人が参加してかなり盛り上がりつつみんな楽しそうにゲームを進行させていた。直前まで何をやるのなかなか決まらなかったが、とても大成功だったと思う。このようなクラスへの催し物というのは、一人一人の責任感と団結力が結集して立派なものが出来上がると思う。今回の文化祭ではこのことをまさに実感した。高校生活の最後の文化祭に最高の思い出に残るようなとても良い光景だったような気がする。準備などにかかなり時間がかかったが、皆がとても一生懸命やった結果がとても良い催し物が完成したと思う。

（三B 佐々木 伸一郎）

文化祭

文化祭を終えて一つ学んだ事がある。それは…人は一人では何もできないのではなからうか、ということだ。みんなで協力しあいクラス全員で団結したことによって、僕らのクラスはとても明るく楽しく、かつ結構もうかったからまあ、よかったと思う。

文化祭後は、打ち上げ（打ち上げといっても花火じゃない）をした。かなり盛り上がり、みんなおもしろおかしくやっていたようだ。

ところで、知っている人は知っていると思うが、文化祭中にラグビー部の公式戦があった。ラグビー部員は、大会のため文化祭にはあまり参加しなかったけれども、試合にむけて猛練習をしていた。その結果、試合にはおもいつきり勝った。ラグビー部は波に乗って、トーナメントでベスト16まで登りつめた。最後の試合は本郷高校というとても強い学校で、善戦空しくラグビー部は敗退してしまった。これでラグビー部の三年間は幕を閉じた。四年間の奴も二人いた。

話は文化祭にもどるが、飾りつけや買い出しがちょっと大変で、みんな走り回ってクラスに貢献していた。販売もうまくやって、ある物は全部売りつくした。まあクラスとしては、かなり充実したものだったと思われる。

(三C 石崎 卓也)

カレーなるブタの物語

ブタのボルコ・ロッソは日の沈む夕暮れのアドリア海を一人（一匹？）漂っていた。「飛べないブタはただのブタだ。」などと偉そうなことを言っているが海賊マンマユート団に見事に撃ち落とされてしまった。だだっ広い海を長いこと漂っていると、突然島が見えた。島の名前はマシノチタマカナノミグーデトコルハ島だった。ああ、なにかうまさうな匂いがする、ボルコは島に上陸し、匂いのする方へ走っていった。はるかかなたで大きな鍋がグツグツと音をたててゆげを出して煮えている。そのまわりをミグーデ原人がドンドコドンドコなにやら踊っている。「カレーだ。この匂いはカレーの匂いだ。」ボルコは今、この中に入ってゆくのはヤバイと思いながらも匂いにつられて行ってしまった。ミグーデ原人は「ダタブ//ダタブ//エマシテーニ!!」とわけのわからないことを叫んで鍋の中にドボンと突っこまれた。「助けてくれ!!俺はブタじゃあないんだ!!」

こうしてミグーデ原人のカレーはブタ(?)肉入りになったのだった。

というわけで今年中は庭でカレー屋さんをやりました。みんなの大活躍で大成功でした。チョコパフェもうまかった。バナナチョコもうまかった。

(三D 桑原 章)

三年E組

「三Eの『うどん屋さん』は大成功でした。…と思います。三年生模範店、という固定観念が三Eの中にはびこっていた『出しもの決め』のLHR。『模範店やろー。』という言葉は出て、何をやるかはなかなか決まらなかった。やっとな『うどん屋』と決まり、メニューも決まった時の文化委員のやつしーの笑顔はさわやかだったと思う…よね?」

そして本番の文化祭当日、特に頑張った活躍してくれた調理場スタッフの方々、そう西村明子と厨房の仲間達、本当に暑い中を御苦労様でした。「まこちゃん、まこちゃん。」とつぶやきながらネギをきざんでいた彼女の姿は目をつぶればほら、今でも昨日のことのよう。

それから、会計のまゆと彩もおつかれ様でした。放課後遅くまで需要と供給の計算に追われていた彼女らの後ろ姿は、「もー本当に大変なんだからあ。八嶋何かおこれ。」と言っていました。

そうゆう縁の下の力もちさん達のお陰で、三Eのうどん屋「いちよう屋」は、大成功に終わりました。

「ちよっとおー、この量で二百円もするの?」と言い残して行ったおばちゃん、もう気にしてないよ、ちつとも。だって三Eは大繁盛だったんだもん。終わり良ければすべて良し、だもんね。

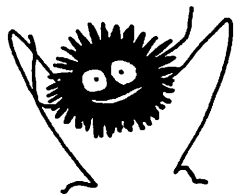
(三E 堀内 治江)

三年F組の文化祭

この文を読んでいる人のうちのかなりの人が、三年F組を訪れたのだろう。さらに、教室のミッキーマウスは「はり絵」だということに気付いた人はどのくらいいたのだろう。多大な時間と労力を費やしたにもかかわらず報われなかったような気がする。確かに、うちのメインは、ホットケーキやらなんやらで、それをおいしく味わっていたければよいので、ある程度の売り上げがあれば文句はないが、入ってきた客の無神経さには困ったものがある。

「はり絵」に気付かない客も、うちの商品の味には敏感なようで、商品はマズイという話は聞かなかったと思う。これは、うちの優秀な調理スタッフのおかげであり、ウエイターや、ウエイトレスの力ではない。リサイクルを考えた私達は、アルミ缶回収を行い、展示していた。それは、あくまで、リサイクルのためであり、飾りなどというものではない!!はずだったがなぜか教室内にまだ残っている。なぜだろう三十五円回収したのに黒字になるのはなぜだろう?など問題を残しつつ文化祭は終わった。

(三F 村田 健一)



修学旅行

〈始めに〉

平成四年十月二十八日から三十一日の四日間、京都（関西）方面へ出かけました。一日目から三日目までは、班別自由行動で、四日目は、全体行動で実施されました。四日間、天気にも恵まれ、それぞれの心の中に、たくさんの思い出を残して修学旅行を無事に終えることができました。

▼次に、主な見学場所等の説明を含めて、アンケート結果を掲載します。

Q1. あなたの班はばとこへ行きましたか？

（一日目）・京都……………102人

・奈良……………29人

・大阪……………11人

・琵琶湖……………4人

・その他……………5人

☆一日目は、京都駅に到着したのが昼近かったので、自由行動は半日でした。さすがにこの日は近場で過ごした人が多かったようでした。

・清水寺

現在の本堂は、一六三三年、徳川三代將軍家光による再建で創建時の姿を伝えるとみられる懸造の広い舞台は「清水の舞台」として名高い。

（二日目）・大阪……………92人

・神戸……………42人

・京都……………25人

・奈良……………6人

・その他……………6人

☆二日目は大阪城や道頓堀、異人館やポートアイランドつまり大阪・神戸方面まで足をのびした人が多かったようでした。

・道頓堀

江戸時代に芝居町として発展したところ。浪花座、中座、角座、朝日座、弁天座の五座が櫓をあげ、庶民文化がここで華開いた。

・大阪城

石山本願寺の跡地に豊臣秀吉が築城したもの。

大阪夏の陣で全焼し、徳川幕府が再建した。

・ポートアイランド

甲子園球場の120倍の広さを持つ人工島で、現在は、三つの公園、遊園地、ホテル、ファッショビルが建ち並び、一大海上都市を形成している。

（三日目）・大阪……………82人

・京都……………76人

・神戸……………24人

・その他……………5人

がったことでしょう。

Q6. 夜の外出は誰とどこへ行きましたか？

〈誰と〉・友達……………112人

・班員……………18人

・その他……………6人

☆〈どこへ〉の答えの商店街というのは新京極周辺を指しています。

・商店街……………140人

・ゲーセン……………17人

・カラオケ……………6人

・鴨川……………4人

・その他……………19人

Q7. 修学旅行は楽しかったですか？

・YES……………141人

・NO……………12人

〈終わりに〉

今回の修学旅行は、古都の京都・奈良を中心に実施されましたが、関西の中心地である大阪・神戸などにも足をのばすことができたので、かなり広範囲で行動ができ、楽しめたことと思います。

そして高校生活最大の行事「修学旅行」も終わりました。きつと、それぞれの胸の中に、それぞれの思い出を残し、いつまでも忘れることのできない修学旅行になったことでしょう。

（二B 永井 雄作・二B 清田 智之）
（二D 飯塚あす香・二D 北脇 志麻）

Q2. 行ったところで一番印象に残った場所は？

・京都……………69人

・大阪……………65人

・神戸……………18人

・その他……………24人

Q3. お土産は何を買いましたか？

・ハッ橋……………85人

・漬け物……………35人

・まんじゅう……………22人

・（宇治）茶……………13人

Q4. 予定通りに行動できましたか？

・YES……………119人

・NO……………52人

☆NOと答える人が多いと思いますが、意外にきちんと行動できた班が多かったようで良かったです。

Q5. 消灯時間を守りましたか？

・YES……………44人

・NO……………139人

☆「NOと答えた人は何をしていましたか？」という質問には、「しゃべっていた」と「ゲームをしていた」という答えが大半でした。中には「すもうをしていた」という部屋もあり、それぞれの部屋で遅くまで盛り上

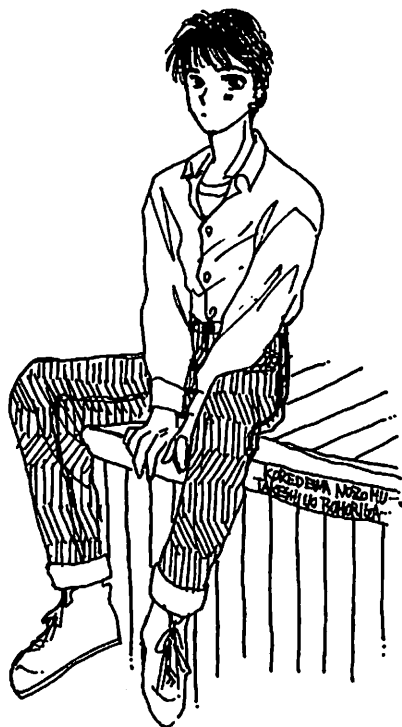
稿 寄



「五十万円あればネパールに学校が建てられるんだって」と、一人の先輩のこんな呼びかけでこの活動がスタートしました。私が中二の頃でした。中学生なのでアルバイトもできません。どうやって五十万円もためるんだろうと思ったら、『アルミ缶で…』とのこと。アルミ缶は一個五円もしないと聞いてビックリ。一体何年かかるのかなあと思っているうちに、その先輩の入っていた委員会中心に活動が少しずつ始まっていました。変わったことするなあと誰もが感じていたはず。始めは、道端に落ちていた缶拾いからでした。アルミ缶がスチール缶の区別もつかず、とにかくみんなで拾ってきたという感じでした。そんな事をしているうちに、いつのまにか、『ボランティア会』というものがあがり、何人かの友達と、興味本位で入ったのです。活動内容は、週に一度、缶を集めて学校に持ち帰り、それを足でつぶすという作業です。こんなこと誰もが初めてで、とまどいながらも、活動は続きました。ミーティングもやって少しづつ会はまとまってきて、会員も増えてきました。近所にある団地や新聞社等にも呼びかけをして、協力してもらうように、自治会に頼んでアキ缶入れの設置も行いました。これらの呼びかけは大成。かなりの缶が集まりました。毎週、缶がいっぱい、やりがいがありました。その頃は、真冬でした。寒くて、手が切れそうになったり

もして、つらいこともありましたが。夏も夏で炎天下の中、汗いっぱいになっての缶つぶしも最悪でした。ジュースが残っている缶なんてとても臭くなっているし、ゴキブリはいるので苦労しました。何と言っても缶つぶしの中で大変だったのは、スチール缶とアルミ缶の分別をすることです。会員ですら、どのジュースの缶はアルミ缶かスチール缶と区別がつかないので表示のない缶は、わざわざ磁石で調べて分けてました。担当の養護の先生は、活動の後、冷たいジュースを用意してくれたり、イベントがあつたりで楽しませてくれました。お金の方も少しづつたまって、五万突破、十万突破と増えていって私達の努力の結晶かと思えました。そして私達の活動を知って寄付してくれる他校の人や近所の人もいて、その時は、嬉しかったんです。そんな中、私達が目標としているネパールの村の方が日本に来て、私達の中学を訪ねてきてくださいました。そしてその時、ネパールの厳しい現状を知ったのでした。それから、お金を得るため、夏祭りやバザーに参加してどんどん稼ぎました。その中で、様々な人々との出会いがありいろいろなことを学びました。このような活動を約二年間続けました。高一の十月によく目標額は達成。十二月にはボランティア会代表として、OB・OGの八名十先生十関係者の方々とネパールに行くことができました。ネパールのことは、スライドでよくわかったはずなのに、その土地に行ってみると全く違うことばかりで思っていた以上のものでした。町のどこを見ても、貧しさが感じられました。人々のほとん

どが、服がやぶけてボロボロで、裸足でした。家だってガラスは全くありません。道路もガタガタで、ただ、あ然とするだけでした。道を歩いていけば、寒々しい姿の子供達が、私達によつてきて、手をさしだして何かちょうだいと求めにきました。ガサガサで冷たい手でした。小さな子供なのにこんなに苦しんでいるのです。それも沢山の子が…。日本がいかに幸せな国かわかりました。お金やお菓子をあげたい気持ちは山々でしたが、私には、その子たちを無視することしかできませんでした。とても胸が痛みました。目的地の村、タルパ村まで市内からバスで四時間、さらに、山登り三時間半という長い道のりです。(現地の人はこの山を一時間で登るとか…)フーフー言いながらも、目的の地まであと少し。本当に、今ネパールにいるの?!と思いがたの登山でした。村の入口には、WELCOMEとかれた小さなアーチがあり、そこで村の人々の歓迎を受けました。ヘトヘトになったけど、その時は嬉しさで疲労感なんてありませんでした。昼食は、固く小さなパンにジャムをつけたものが二枚にミルクティーでした。村の人々は普段昼食はないそうで、最高のもてなしをしてくれたそうです。日本の冬よりも朝夕はぐつと冷えこみます。住まいはやはり窓ガラスがなく、戸がついているだけであつて、粗末なものでした。トイレもおフロもありません。もちろん電気も。水道は、一年前、世田谷ボランティア協会というところから贈られたので、水道は三つありました。それまでは、山を降りて、水くみに行っていたようです。どこ



これからの自分にこの体験はプラスになっていくと思いましたが。実際に行ってみないとわからないことがいっぱいでした。貴重ないい体験をすることができました。私が高二の春、七、八教室くらいの小さな学校が村に完成したと聞きました。何ともいえない嬉しさがこみ上げてきました。

を見ても生活の苦しさがわかりました。私にはここで生活なんてできないと思いました。村の人々は私達をめずらしそうに、そしてうらやましそうに見ていました。歓迎会もしてくださいました。村長さんは、心から私達の活動を喜んでくれて、涙ぐんでいました。それから、担当の先生の話でした。先生も涙ぐみながら、この地に自分で来れたこと、そして、今までの苦しみを生徒達と乗り越えてこれたという話を話していました。そこで私もようやく、タルパ村に来れたんだ、目標が達成されたんだなあと実感し涙が出てきました。二年前からの事を思い出しながら……

夕食までの間、私達生徒は村の子供たちと遊びました。いろいろな人からの寄付金で、大なわとび、楽器、ノート、鉛筆をプレゼントしました。みんなで楽しく思っ、大なわとびにチャレンジ。見本をみせて、やってごらんというふうに示しました。最初はテレで、みんな見ているだけでした。三十分くらいすると五、六人の男の子がチャレンジ。ひっかかりながらも楽しんでるようでした。そのうちに、別の子も、女の子もはいつてきて、私達も楽しむことができました。ビックリしたのは、大人が子供をどかしでまで、なわとびをやったことでした。その人たちが子供の頃もやはり、遊具がなかったから、今こうして遊べることに楽しくて仕方がないんだと思いました。盛り上がりつつあるうちに、あたりは真つ黒。時計を見るとまだ夕方四時です。電気がないことの不便さを知りました。それなのに子供達は、転びもせずに走り回っています。私なんてライ

ト片手に転ばぬようにするのが必死でした。

ネパールでは、食べ物で取って食べるのが基本です。夕食は、手で食べました。結構難かしいんです。村の人々の朝晩の食事はとうもろこしの焼いたものだけを食べているのです。私達のために用意された食事ですら、粗末と感じた私を恥かしいと思いました。最高のもてなしをしてくれたのです。

村の子供の中でも、割といい家の子は、町の学校に通っています。だから、英語が話せるのです。私は、カタコトの英語で質問したりすると、子供は、ペラペラ話してくるのです。あせりましたね……。でも、すっかり会話をしました。自己紹介をしあったりして、ネパールは、男尊女卑の国で、村でも男の子しか外にいないのです。残念ながら女性との交流はほとんどありませんでした。だけど一泊二日のタルパ村での生活で、村の人々との交流を深められたことは、忘れません。一泊だけだったから、物足りない気もしましたが、楽しい二日間でした。言葉が通じなくても一つの遊びで楽しくできたし、仲良くできて、だから、別れは少しづらかったです。暖かい目で見送ってくれて、いつでも最高のもてなしをしてくれて……。ここで初めて私は、ボランティアをやっているよかったです。そして、一つの大きな夢を実現できたのだと思いました。この満足感は大きかったです。ネパールの人々のためにも、いいことをしたと思うし、自分自身得るものが大きかったように感じます。この喜びと嬉しさは、今までにないものでした。

アメリカ人がくれた「衝撃」 一年間、留学して

三C 長谷川 健人

一年間、まあ正確に言えば十一ヶ月間という間、日本とはあらゆる事が異なる国「アメリカ合衆国」に留学して毎日「衝撃」の連続だった事は言うまでもないです。「衝撃」と言ってもいろいろあるわけで、「さすがアメリカじゃん！」という感動、感心もあった反面、「なんだ、大した事ねえな。」といった日本の優勢、アメリカへの失望を感じたということもあります。そんな中でもたぶん一番「衝撃」を受けたと思われる人種差別問題について書いてみようと思います。

アメリカという国は実にたくさんの人種が集まってできている国です。白人種、黒人種、黄色人種、インディアンいろいろいます。ほぼ単一族である日本としては少し想像し難い事実だと思います。言い遅れましたが、私はミシシッピ州の都であるジャクソンにホームステイしました。このミシシッピという州は南部という事でこの人口の約半分が黒人です。おそらく、みなさんは黒人について今から書くように思っているでしょう。スポーツ技術が神技的で、リズム感が優れていて、とても個性の強い人達だと。そして黒人に好意を持っていることでしょう。留学する前の私もそうでした。しかし私は黒人の見方がかなり変化したと思います。その理由としては、おそらくかなりの数の

特集



一般の黒人達を見てきたからだと思います。日本で見るこのできる黒人はテレビ、雑誌に出ている芸能人やスポーツ選手、いわゆる有名人だけだと思います。もともと今日の日本にも一般の黒人はいますが、彼らと接触するのはごく一部の人々だけでしょう。

ここで多少、差別について書きますが昔の黒人を奴隷にしていたような虐待的なものではないです。私の通ったバイラム高校はやはり黒人が生徒数の半分位いました。だからお互いに接触はあるものの、自然的に別れてしまっていました。授業中の席や休み時間に会話するのもやはり白、黒でははっきり別れています。どこかへ遊びに行く時にも白人、黒人で一緒になって行くということはほとんどないに近いです。アメリカはキリスト教の国なので教会が数多くありますが白人用教会と黒人用と別れています。あと、一般の白人は一般の黒人のことをとても好きではないのは事実です。ホームステイでお世話になった家族は白人でしたが、テレビで黒人がばかげた事をしているとチャネルを替えてしまったり、私が日本人は黒人に好意を持っている事を伝えるととても驚いたりしました。近所の人達も日本に黒人がいない事を知ると羨ましがったりもしていました。アメリカでの生活がまだ始まったばかりだった頃にこういった事実は理解できませんでしたがしばらくたって理解できました。やはり黒人は「違う」人種なのです。

なんだか、さつきから黒人への文句を書いているように思われるかもしれませんがあくまでも事実を述べているの

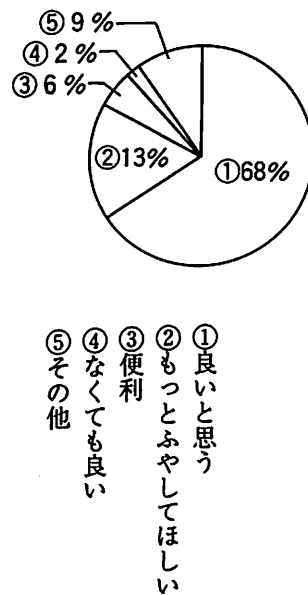
です。もちろん私をいろいろとやさしく助けてくれた黒人もいましたし、彼らの素晴らしいダンスを目の前で見た時の感動はかなり大きいものでした。こういった人達もいるのに他の黒人達は何も考えないで悪く思われるような行動をする人も大勢います。日本人や白人だって素晴らしい人いればどうしようもない人もいます。だから黒人だって同じはずですが何か「違う」のです。

うーん、なんともうまく表現できないのですが少しは私の意見を理解して頂けましたでしょうか。今日、アメリカも数多くの問題を抱えていますがこの人種差別問題は永久の課題でしょう。アメリカ人のみならず世界中の人々は国際理解のために短所を見つけ合うのではなく、長所を認め合うのが必要なのですが、これはかなり難しい事だと私は思います。

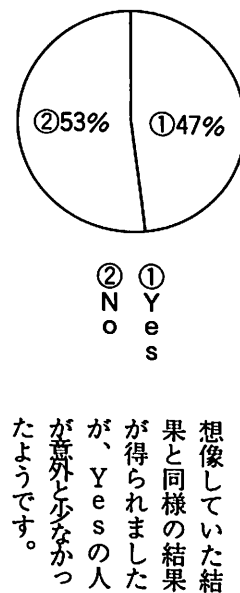
最後にボランティア精神で私の事を面倒見て下さったエバンス家をはじめ大勢のアメリカ人、たくさんさんの「衝撃」をありがとう。そして遠く日本から励まし続けてくれた父母、妹と祖母。いろいろな情報を提供してくれたたくさんの素晴らしい友達と先生方。本当に心から感謝しています。まあ、これから留学しようとしている人も興味がある人は気軽にオレんとこに来てくれっち。

特集・松高生の実態 (アンケート結果)

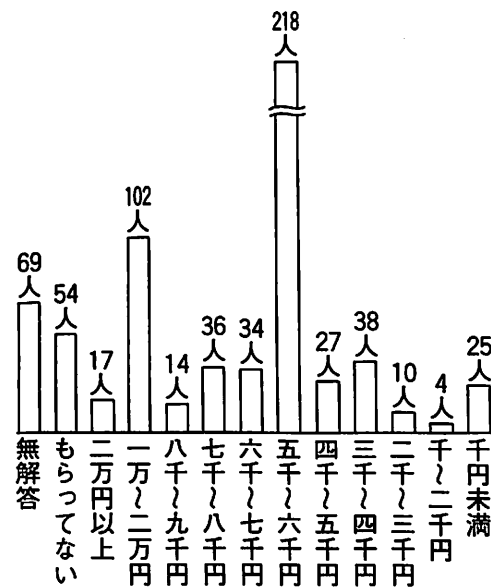
Q. 自動販売機についてどう思いますか？



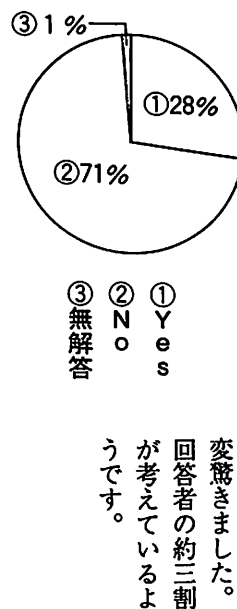
Q. バイトをして(又はしたことがある)いますか？



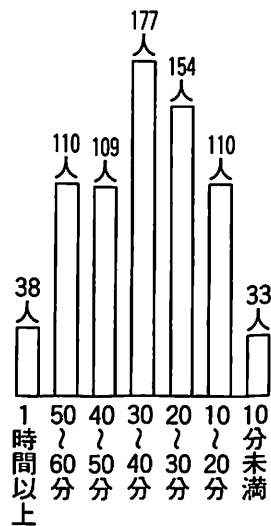
Q. 小遣いは月どのくらいですか？



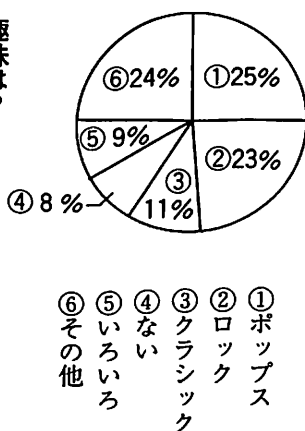
Q. 自殺を考えたことがありますか？



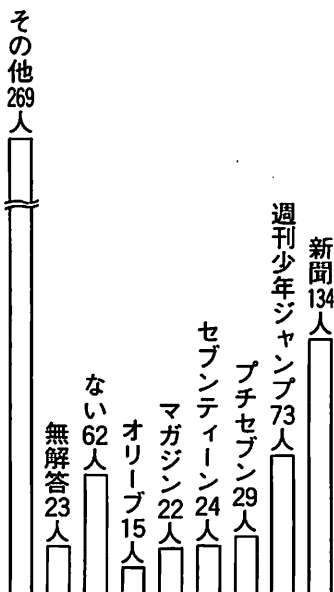
Q. 通学時間はどのくらいですか？



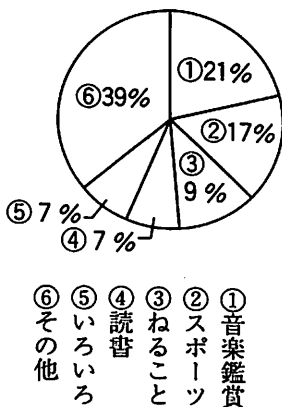
Q. 好きな音楽のジャンルは？



Q. よく読む雑誌は何ですか？



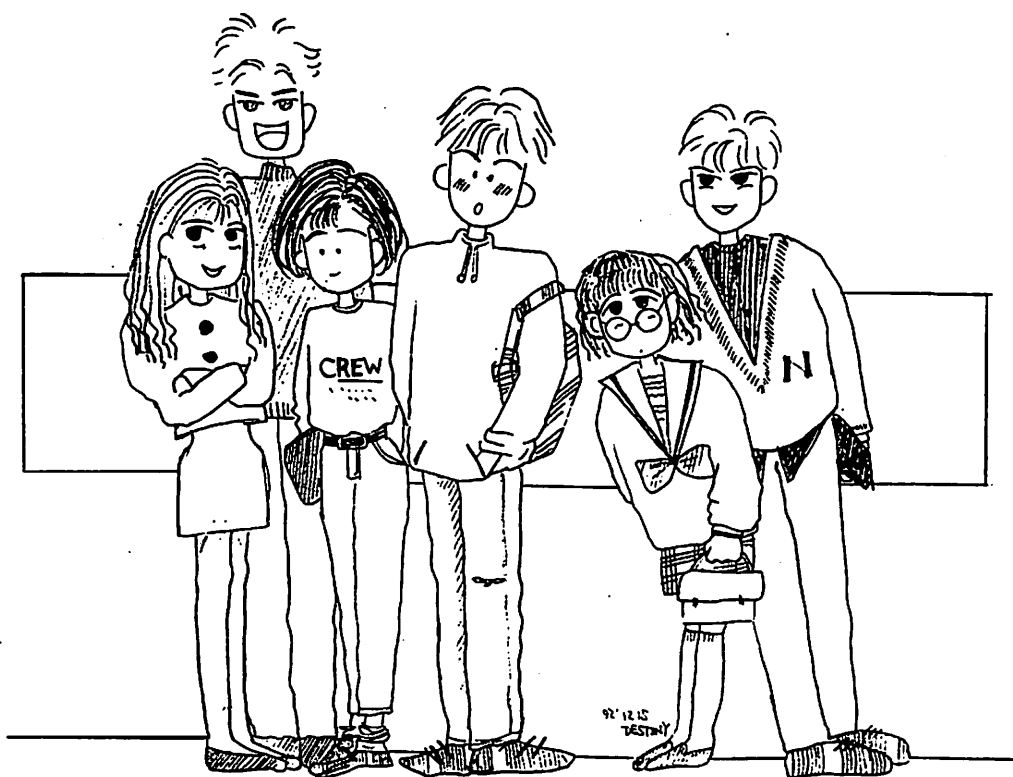
Q. 趣味は？



Q. 今一番行きたい国はどこですか？

- ・ オーストラリア
- ・ ヨーロッパ
- ・ フランス
- ・ アメリカ
- ・ イギリス
- ・ ドイツ
- ・ スイス
- ・ 日本
- ・ カナダ
- ・ etc.

クラス紹介



Q. 好きな科目、嫌いな科目は何ですか？

〈一年生〉好きな科目

1. 英語	41人
2. 体育	37人
3. 数学	27人
4. 現国 現社	20人
5. 生物・化学	13人
6. 古典	4人
7. 家庭科	2人
その他	2人

嫌いな科目

1. 数学	59人
2. 現社	28人
3. 英語	27人
4. 現国	24人
5. 古典	19人
6. 全部	13人
7. 体育	3人
その他	3人

〈二年生〉好きな科目

1. ない	53人
2. 体育	44人
3. 社会	38人
4. 英語	37人
5. 現国	20人
6. 物理	17人
7. 数学	10人
その他	10人

嫌いな科目

1. 数学	63人
2. 英語	44人
3. 社会	22人
4. 物理	17人
5. 現国	14人
6. 全部	12人
7. 保体	5人
その他	5人

〈三年生〉好きな科目

1. 社会	45人
2. 体育	37人
3. 英語	26人
4. 現国	13人
5. 数学	11人
6. 選択	10人
7. ない	9人
その他	9人

嫌いな科目

1. 英語	39人
2. 社会	36人
3. 数学	27人
4. 現国	22人
5. 理科	18人
6. 古文	17人
7. 全部	8人
その他	8人

五月某日にアンケートをとって、集計し終えたのが二学期の初め…。ところがこの原稿を書いているのが試験休み!! 何故こんなに間隔をあけたのだろうか…。これは決して忘れていたのではなく、時間がなかったからである。

今回のアンケートの感想は、「今の松高生は、一言では表現しきれない」というものである。良く言えば十人十色バラエティに富んでいると言える。しかし、裏を返せば…。

よって、今回だけでは、まだまだ松高生の実態は浮き彫りにされていない。それだけ「奥が深い」のである。

最後に、アンケートに協力してくれた皆様、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

一C 福本 千穂・一C 小山 功記
一D 安井 更織・二B 清田 智之
二B 永井 雄作・二F 山東 隆博

一年A組

我が一年A組は担任の松永先生と四十四名で構成されているクラスである。クラスの中には怪しい者も数名いるようだが、ごく普通の高校一年生の集まりとしておこう。

担任の松永先生であるが、一見、真面目そうで、将棋部あたりの顧問をしているように見えるが、見た目とは全然違う先生である。(不真面目ではない。将棋部もない)。先生は軽音部の顧問をしており、輝松祭でもクラスの約半数が見守る中、ドラムのG・Hと共にハスキーボイスで僕等を魅了させてくれました。

クラスも常に団結しているわけでもないが、輝松祭前日の親睦卓球大会での団結力は記憶に新しい!!(内輪)。また授業中も、にぎやかな時と静かな時とのギャップの大きさが激しいがそれがA組の味であり、それは、それでいいのだという事を信じていたい!!

最後になりましたが、いろいろお世話になった松永先生、楽しく一年間を過ごさせてくれたA組の素敵な仲間達に感謝の意をこめて終わりにしたいと思います。

(一A 西山 智之)

一年C組

入学してからまずおどろいたのはクラスの静けさでした。休み時間はともかく、授業中といったら遠くで虫が苦しんでいても聞こえてしまうぐらいでした。にぎやかな中学からきた私にとって、まさに地獄の日々。静かすぎてたえきれなくなり、気分が悪くなったことさえありました。今はどうでしょう。気分が悪くなるどころか良くなるばかり。こんなに個性の豊かな人がいたのかと思うくらい、みんな緊張がとけて本心をだしまくっています。だから一Cは良く言えば明るい悪く言えばうるさい。そんな一Cにも尊敬する人がいます。野口英世・中村久子・桜木花道・ゆうゆ・森光子・担任の渡辺稔子先生かと思いきや渡辺徹。みんなどういうふうに通敬しているのか全くわかりませんが、毎日毎日、汗水流して少しでも近づけるようにとがんばっています。また、なりたくない!という人は宮沢首相・両親・ホモ・渡辺徹かと思いきや……。

水場があるからくるのではなく、トイレがあるからいくのではなく(たしかに少し匂いますが)一Cの中に入ってみて下さい。すぐにあなたも変なクラスの一員です。

(一C 星野 智子)

一年B組とは?

一言で一Bを説明しろと言われると一番初めに思うのが「とにかく明るいクラス」です。もっと言えば、明るいバカをつけてもいいくらいです。

このようなクラスですから、体育祭や文化祭などの行事の時は、みんな何やかんや言いながらも一生懸命やってくれ、クラスの中はとても明るく、活気があり、わきあいあいとしています。

そして、男女もとても仲が良く、お互い困ったことがあったら助け合って生活しています。

こんなに自分達のクラスをほめてもしかたないので、次は、担任の河村先生について、私達は、とにかく河村先生に迷惑をかけてばかりでいつも困らせています。先生はとってもやさしくて、たまに言うギャグがなんともおもしろい(ギャグに奥がありみんなが気づいて笑うまでに数秒かかる)のです。

河村先生と一Bのみんなで、いつも明るく楽しく生活しています。私は、とても良いクラスだいつも思っています。もし「一Bってどんなんだ?」と思った方は、ぜひ、三階一年B組までお越しください。

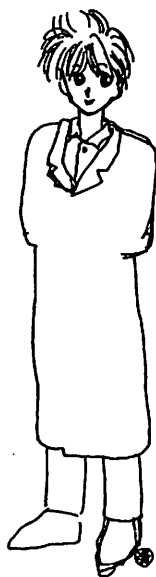
(一B 片桐 奈穂)

一年D組

前期HR議長を務めさせていただいて思うことは、私がいかに足りない者であるかということです。私の議事進行の段取りの悪さが原因のHR中の私語のため、思うように話が進まないこともしばしばでした。しかし、このクラスで行事は無理だ、とあきらめている私を驚かせたのは、直前になって始めた準備での団結力、そしてその結果でした。体育祭では、我が白組優勝。文化祭では賞はもらえなかったものの、本番二週間前に決まったビデオ制作、室内装飾は素晴らしいものでした。

「団結力」は互いに助けあおう、自分の力を出しきろう、とすると自然にでてくるものです。私達は直前になってようやく団結力が生れましたが、本番までの短い期間で学んだことがあると思います。その学んだことをどうするかは、一人一人の問題です。

一年D組で過ごした一年間は、決して二度あるわけではありません。あなたは、この一年間で何を学びましたか? 私達は、友達のすばらしさ、みんなで一緒に物を作る楽しさです。



(一D 阿部 朝子)

一年E組

一年E組は一言で言うと、はちゃめちゃなクラスです…。まず担任は、前まで黄色いスーパーマーケットのかごを持ってりりしく歩いて、教室そうじを手伝ってくれる武田先生（すごくそうじをするのが早い。）副担任は、いつも美しい声を出す、HRにくるとどなり声に変わってしまう菊地先生です。うわさではうち（一年E組）は最強のクラスだそうです。

では、クラスのことを紹介しましょう。まずはっきり言ってお教室はきたない。ゴミ箱にはいつもいっぱいゴミがたまっているし、教室の左前にあるロッカーもボロボロ。今年の冬使えるかなあ、と思うほどボロボロな暖房。でも、一年Eのクラスみんなは、本当にいい人ばかりなんです。授業中は静かだし、テストの学年平均はいつもトップ、美少年、美少女の集まりのクラス。これは、全部本当の話です。事実です。うそだと思ふのなら、一度でいいから一年E組に来てください。一年E組一同、心よくお出迎えいたします……。

あつ、そういえば、このル・クールは三月の末に出すんだ。ということ、みなさんは一年E組に来れない。あー残念。みなさんに見せたかったのになあー。

（一E 田村 和也）

二年A組

ありとあらゆる個性が押し込まれている高校生の博物館、それが我々が二年A組であります。

思ったことへ向かって一直線、わき目なんてふりません。そんな勢いにあふれています。時々これが勝手気ままになつてしまう時もありますが、気にしません。最終的には無事に物事を成し遂げられれば。

そしてこの巨大な勢いと個性の集団を引っ張っていただくさつているのが、担任、山崎賢司先生です。化学室に本拠地を置く山崎先生は、いつも白衣（少々汚れ有り）に身を包み、手に釣り竿の切れ端を持ち、クラスの問題を解いてゆくのです。（ひよつとすると一番個性的なのは先生なのかもしれない……）

でも本当のことを言うと書いてある本人自身、まだよくわからないところもあるのです。

暴走しているようにしていいない、まとまらないようだとまっている。これも二Aの個性の成せる技なのかもしれない。

（二A 小林 大輔）

“What's 1F?”

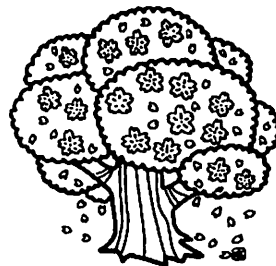
「1Fってどんなクラス？」と聞かれると、私は答えるのに非常に苦しい。というのも1Fのメンバーは皆、異なった性質(?)をもっていて、一言で言い表すことが出来ないからだ。エネルギーの塊みたいな奴、ちよつとオタクっぽい奴、いつもニヤける奴、そんな漫画のキャラクターのような人間がかき集まって設立しているクラスだから四六時中にぎやかだということは言うまでもない（でもそれがエスカレートしてしまつて少し授業中うるさいのがタマにキズだが……）。でも、ただ明るいのではなく知的好奇心の強い人間が多いというのも1Fの大きな特徴だと考えている。

いや、本当の話なんだ。

何がともあれ、こういった人間（11Fのメンバー）が今の三年がさつさと卒業した後、当高校をしきることになるのは時間の問題だろう。という大きな未来(?)を背負ったクラスでもあるのだ。

最後に、薄幸な1Fに幸があることを祈つて。

（1F 奈良 潤）



二年B組

我がクラスは松高の“中心”に位置し、生徒総数四十五名で構成されている。果たして中心にあふらしいクラスかどうかといえば、まさしくその通りで、八時十五分に学校に居る人はほんの数名である。生徒の大半は八時二十五分から三十分によつて来るのだが、三十分過ぎに来る人も見受けられる。授業はといえば生徒全員が揃うことがあまりなく、さらに静かな時とうるさい時の差が激しく、先生に注意されることもしばしば……。

しかし、文化祭を見た人は分かると言うけど、やる時はやるのである。ただ、相当時間がかかるという事を除けばの話であるが、できればそれで良いということ……。

二年も残り少なくなつたけれども、このままの面々で、無事に三年に全員が進級できることを祈りたいと思う。

そして“高校時代は良かったなあ”と思ひ出させる様に益々パワフルに突き進んでいければ良いと思う。

又、担任の白坂先生、副担任の有賀先生には、大変な思いをさせてしまつて、申し訳なく思います。

（二B 清田 智之）



二年C組

世界のスーパースター Mr. SHIKAI率いる我が二一C組。まず、我々のスター四家井喜義のプロフィールからはいってみよう。富山県の魚津に昭和×年に生まれ、中学・高校とまずまずの成績で、バカ田大学に進学。そして、数々の困難をのりこえて、今にいたる。(と思う)今は二児の父そして三時のあなた。長き大学生活の中で、今の妻×子さんと出会い学生結婚……と、風のうわさで聞いた。

一方、今のクラスといえば、色々なグループに分れているが、いざ行事があると、団結して優勝をかつさらっているという曲者達である。今年度の文化祭では、見事満場一致で総合一位をもらっている。体育祭の方でも、S君やその他もろもろの生徒達の頑張りで、白団の優勝に貢献した。そこでクラスの貢献した人たち数人に聞いてみた。

A・Y君「やっぱりね、このクラスはあいつがいるから強いんだよ。」そしてT・Iさん「あいつは私達の鏡だよ。」とその横にいたR・Sさん「あいつはすごいよ」と。

さてそのあいつとは誰でしょう。そうです。先程もふれたようにS君こと秀樹ザ・スーパースターである。

というわけでわけのわからないことをならべ字数を稼いだ私、安藤です。とにかくこのクラスは、みんなやるときはやります。これをお祝いの言葉にしたいと思う。

(二C 安藤 清人)

二年D組

うちのクラス二年D組。男子二十三人+女子二十一人数計四十三人。そして担任は文化祭の時に着ていた、Tシャツのデザインのもデルノにもなっている国語科の大山先生。副担任である社会科の山室先生。この豪華メンバーで形成されている、場所と時間によってコロコロと変わっていくクラスなのです。

例えば、授業中、全体的には静かであり、担当の先生方からの評判はいい。しかしながら、休み時間などになると授業中あの静けさはどこかに飛んでいつてしまいい、とたんに明るくまとまったクラスへと変わっていくのです。

でも、最初の頃はまとまりがあつたわけではなかった。しかし時間がたつにつれて次第にまとまりもでき始め、体育祭や文化祭などの行事の時には、みんなでまとまり、一心となって取り組んでいきました。これがうちのクラス二年D組の元来の姿であり、二年D組が誇る一番のことではないのかと思います。

この個性的な豪華メンバーが集まったうちのクラス二年D組。個人個人を大切にしながらも、みんなでまとまりをもちながら、いろいろなこと(?)に力を発揮していけたらなあ、と思ったのだった。

(二D 森 直樹)

「私優先」の二年E組

我がクラス二年E組の担任 プロフィール。

名前・平井義晃 外見・眼鏡をはずせばニユース23のT氏眼鏡をかければムツゴロウ、口ぐせ・私優先はいけません チェルシーあげます。ぶちますe t c :。科目・世界史

世界史の授業風景(二年E組 木曜一限)

チャイムから三分後、平井先生が入ってくる。礼の後、出席を取る、遅刻者多数、授業が始まる、先生の一言、「松原高等保育園の生徒がいる。」その後、「教科書、ノート、図説を忘れた人はブチます。」こうして授業は刻一刻と過ぎてゆく、この間に確実に教室内の人間はふえてゆく。授業も中盤を過ぎれば教室は静かになる。ここで平井先生のチェルシー攻撃、又は、くだらないダジャレとともに、再び授業は止まる、そうこうしているうちに木曜一限の授業は終わるのである。クラスのこのムードは他の授業でも続く、このクラスの私優先は先生そのものであり、クラスそのものであるようです。こんな連中(自分も含んで)でも生きてゆけるし、文化祭で賞もとれます。(優秀賞バンザイ)。来年もこのクラスは続くのである。

なお、この文を読んで平井先生のこと気が入った人、会ってみたいと思っただ人は社会科準備室へ行ってみましよう。チェルシーを用意して平井先生がまっています。

(二E 前田 裕樹)

二年F組

我が二年F組は、とってもルーズなクラスであります。八時十五分にはまだ生徒が五・六人しかきていなく、授業の始まる二・三分前におびただしい数の人が教室に入ってきます。

このクラスの特徴は、休み時間は、他の教室に行ってしまうのです。残っているのは十人くらい。

授業中は……というところ、ここに書くことができないくらいうるさいです。先生方からも注意をたびたびうけます。担任の鈴木先生は、全員進級できるかどうか心配しているそうです。でも先生は、進学指導に熱心でいい先生です。

しかし、こんなクラスではありますが、仲間はずれなど一人もいないノというところが一番の特徴だと思いますね。なぜなら、文化祭や修学旅行はちゃんとまとまっていたし、けんか、いじめもないしね。

最後に副担任の小野先生、この先生は、数学科なのに、保健のレポートのコピーを手伝ってくれたり、終わりのホームルームは、すごく短かく、そうじも一緒にするのです。この二年F組、何も起きず、全員進級してほしいものです。

(二F 山東 隆博)

三年A組

三年生の時が一番落ち着けた。
三年間で長いもんですねえ
ありがとうございました。ばいばい。
バスケット部でした。
楽しかった♥
特にないなあ……

赤瀬 香奈子
イリ
のり子
ちゅんこ #16
うーさん
奈美
小野澤
みゆき
あけみ
みちる
まゆみ

その時その時を大切に 私も好きな事するからさつ
「本八幡」は「ほんはちまん」だとずっと思つてた
けちのはによ達りうて早て二代目班長兼バイリンガル美和
梅田家で ことわれましようや 「若貴コール」 とよこ
つばのやさん 何を書こうか カンガル
こんな名前つけてくれてありがと、ちよ
エロティクにチューにさやかにオッパカパー♥
おっぺけべつ
みみ友永不。にあな百くより上つて副班長兼インド人⑧
「なんとでも言え。」
モクメは木でつくられていました モクメ
おばさんって呼ばないで
高校の三年間も 思い出に
ちか
みな
美和
とよこ
あき子
がしお
くみ
さやか
さやか
ううペ
モクメ
K・Y
b y 宏光

三年B組

12年間、出席番号1番なんだぞ。すごいでしょ、青野。⑥
犬と猫とうずらと亀を飼つてるぞ。すげーだろ神田。青野
みんな、絶対千倉に行こうね、くみちゃん。 徳美
もう会う事もないだろうけど感謝してるよ、あんたには……
私は雨の境い目見たことあるよ。すごい杉。⑨「おうの
仕方ないから行ってあげるわ。そうよね、きく。 あきこ
充実した3年間。勉強、部活。そして恋…… たえ #5
3年間、やりたいことは全部やった。 清水 優子
あたし工藤静香と握手したよ。誰がすごい？ 郁ちゃん。⑩
郁ちゃん。何かカン違いしてない……？
XXXXXX逢エバ気持チガ蘇ルXXXXXX 夏子
一年後に10キロやせたのんをお楽しみに!! のん #17
でも来年は十九の夏だから行けない。はすみもね。 きく
ごめんさい

私も来年は、超幸せになつて落ち付くの。ほーやへ 和恵
お世話になったのはあなただけです。ありがと。 ka e
でも、きつとみんなどん底だよ。へへ。ねっあつこ 優子
何か書いてといわれても何も書くことがない ほりうち
そーだね。一心同体少女隊だよん。ようこそ陽子♥あきこ
いろんな風と呼ばれたけど私の名前はただ一つ。 あきこ
吉田栄作が一番でしょ。……えっ？ 何かちがうの……？ 郁子
セッタイ綺麗になつてやる。ねえ徳ちゃん♥ ようこそ陽子
いよいよ卒業も間近だ。準備はできたかな。 鶴野 陵

私は突然彼女を抱き寄せ小手投げ、貴花田の勝ちノ
ONE SHOT AT GLORY!
みんな卒業してもがんばってください。
何も書くことなし。面倒なことやらすなノ
おつかれさま
只今、平成四年拾月拾六日、曇、PM三時二拾分です。⑧
Sad wings of dslng
中村家でことわれましようや「モアイ」
ル・クールが出るころ、僕は多分スーパーマンノ I・S
七人の悪魔よりありがとノ また遊ぼうねノ
池田君の冴えるギャグはもういらない
FADE TO BLACK!
あばよ……
オレ、やべーよ。デ部・部長モーニングコヒー太郎信也
……「何とかがんばる。」
僕はスイスへ留学します。
松高生者優秀也。況我手。日本一也。
明日できることは今日やらす……
①おおダイユウサク
②ダイユウサクノダイユウサクノダイユウサクノ サブ
「GOOD BYE FOREVER」
ありがと信也 そしてさようなら はっちゃけ野郎矢野
浪人だー。卒業だー。
③これはびつくり、ダイユウサク

池田 石本
岩田 勝彦 K
林太郎
小林
ヤンチャン
I・S
すぎもと
良明
高橋 勇治
当間 進一
西垣 晶弘
浩之
幸治
克衛
みやもつ
b y 秀文
横山 潤
みちあき

三Bの諸君は大変人懐っこいが大人をナメてはイカン小林
MILK HALLOでおあいしましょう。 石田 祐次
サクラチル。 岩崎 雄志
四年間ラグビー続けてよかった？⑨平成元年入学
いつまでも友達でいよう、藤間くん。 久世 隆行
めざせ千人斬りノごめんねnonちゃん……
この三年間は、決して忘れることはないだろう。 ⑩五味
いい友達、後輩に囲まれ、楽しかった三年間…… 鈴木俊介
えっ、あんた誰？ 滝沢 勤
バーカボンボン。 竹内 一敏
夢では片付けられないことがある。 谷 K
“cheese smelly” by D'WAY
教訓——後悔役に立たず、にならないこと。 b y 寺館 寛
楽しかった三年B組 豊口 銀二郎
NOTHING ELSE MATTERS 藤間 祐介
そんな事を言われても—— 有 響
でたよこいつノハマッたよノ
松原での三年間を教訓にすっげー大人になる。
大きな栗の木の下で、愛について語りあいましょう。 えい
四年後に俺は、…… 裕之
三年間、朝起きて学校にくるのがつらかった。 涌井 慎二
おなかすいた。 あっ、ネコがやってくるノ ナベ
早く卒業したい。 菱沼 経真

岡田 寛一

三年前の新生代表は、オレだ!!!
いろいろな行事に貢献できたので満足している
卒業できたらまた会しましょう。
卒業してもお友達でいたいのでよろしく。
小池 恒平

キルカメツシユ
♥
by
ふーみん

卒業しても元気で頑張ってくれ
鈴木 義章
君らしく輝いて欲しいから……。
たかせしんいち

一緒に神のバズルを解き明かしませんか？ 民谷 嘉行
モヤイ像の上で叫んで騒いでる奴ら、それがバカ会… ㊦

..... あつ夢精しちゃつた ひろ
..... うつおれも ひろき
.....

吉田松陰シンドバット見る 金太マカオに着く 五円×2
打倒ノ立嶋篤史、わかる奴にやわかる ユタポン

宇宙の中で己を見よ。ワコール社長より!?

果たして、一浪だけで済むだろうか…。 不安な福田

卒業後も級友と親密に、学校には来なくても済むように。

夏持仁 一木

はま

デイズニールランド、一生の不覚ノ
I dreamt a pleasant dream.
単純・単細胞・脳天気・天然ボケ。本当はいい奴! ゆふた
ごめんください。江口です。江口

俺たち死んでも狂乱艶舞!!やっぱバカ会最高ッスよ!!つは
 どーもありがとうございました。

久保田 照季

オレはスーパーサイヤ人だ
Challenge Spirit 人生 T・K

「人はただ風の中を迷いながら歩きつづける…」フリービー
そこで泣いてる君、僕と別れるのが辛いのかい？清水良祐

ハル子の授業はまさにエロ本でした。ありがとう♥ ちよん
ローマは一日にして成らず 塚谷 修

サッカードのみなさん練習を熱心に！
コレで多分卒業だ！

豊田 謙治
永田 幹之

ベントレー・ターボR（運転手付）がほしいなあ

夢と共に生きたい。

若さの眩しいあなた達の可能性が羨ましいです。河村晴子

何れも一つも目分には、これが終を昭なく前向きに渾身

y
-みんク

卒業しても元気で頑張ってくれ

鈴木 義章

一緒に神のパズルを解き明かしませんか？ 民谷 嘉行

……あつ夢精しちゃった
ひろ

吉田松陰シンドバツト見る、金太マカオに着く 五円×2

ぼくもとうとう四年生。たぶん今年で卒業だ。たぶん……④
宇宙の中で己を見よ。ワロール社長より？ 和久幸夫

オレは、「色モノ」か？ いや、二枚目だぜイ！ 健人
果たして、一浪だけで済むだろうか…。 不安な福田

それぞれの道で頑張ろう。

卒業後も親密に、学校には来なくても済むように。

担任 西田

副担任 一杉

青い空に海と山、あ——田舎に住みて——よ——!! はま

浜の風 五臓六腑にしみわたる 白樂守石井朝臣亮
デイズニールランド、一生の不覚ノ バカ会遊撃隊いのP1

単純・単細胞・脳天気・天然ボケ。本当はいい奴! ゆふた

ごめんください。江口です。

俺たち死んでも狂乱麗舞!! やつばバカ会最高ッスよ!! つば

江口

久保田 照季
バト

「人はただ風の中を迷いながら歩きつづける…」ブービー

そこで泣いてる君 僕と別れるのか辛いのかい？ 清水良祐
ハル子の授業はまさにエロ本でしたありがとう♥ ちよん

ローマは一日にして成らず
サッカー部のみなさん練習を熱心に！

コレヲ多分平讀スル。 永田 幹之
ほあつゝあたたたつ!! のなののーなしのーなしのー ◎

一九九三年・春 平野康広ルチャ修行のためメキシコへ

柔道部諸君、関東大会出場おめでとう！

何があつても自分に与えられた試練を明るく前向きに酒井

三年E組

十年後、幸せに暮らしてたいです。 小泉 愛子
千葉県千葉市横戸台…なんだっけ？エビちゃん！！ あさく
ねえ、仲間に入れてよ、エビちゃん、あさく。 マコト
千葉県千葉市花見川区横戸台9-13だよ、あさく！！ えび
あこ。ずつと①と②にこつててちやうだいネ！ きよう
いつもずつと一人ぼっちだった。これからも…。 道哉
あちや、〇〇事務所は恵比寿にあるよー。あはは。 みえ。
また浦部んとこで騒ぎたいね。 今度は何作ろう… 千晶
私のとびきり美味なケーキを食べてプタになるぞー！ まき
まき、今度は遅刻するな！、やなじのレゲエも見たい 浦
またババロア作るね。 ふみ ↑コラノ文が短かいゾ 浦
みんなと会えてホントに楽しかった。 美女とJUUJU
わあーい、杉ちゃんのおとなりだあ！！ 相手して♡美女はる
俺は杉ちゃんじゃない、「栗原浩」だ！！
Congratulation! 楽しかったです。 栗原
あちやへ、いつまでも③&④にはまってる下さいな。 彩より
十年後またみんなとどんな騒ぎしたいな。 やま☆
WONDERFUL WORLD!! 大田 佳幹
杉本真義!! まだ勝負は終わってないぞ!! 四宮 豪
マコトなんか無視しちゃえ！エビちゃんあさく。 チンドン
忘れないでね、元気でね、電話してね。 またね… ひろこ
エノアレ、エ、なに、エ、エ、エエエ 加唐ペ
ほつとけバカ。 西村よりははまってるないもーん。 あちや。

三年F組

トキック一発かましたげるわ。 きみこ
ホモってピアス右なの？左なの？ねえ花江。 みゆき
③ スカッ！とさわやかコーラみたいな風美にラヴ♡なぎ
でびりんひろあきと一緒にペンガルいたかった くま
フンコロガシさんへ プウウウウ エリ
知らない。私、ホモって見たことないんだ、環は？ 花江
④ シンヤ、ブロンでキマって調子イイでしょ♡緑♡#12
えっ本当？新宿にいつぱいるよねエスみちゃん。 環
⑤ 大ちゃん、クサでキマって調子イイでしょ♡奈々絵♡
⑥ マル、火傷でキマって調子ワルイでしょ♡亜里♡
⑦ いつまでもベビーカステラなぞでいてね。 かざみ
你身体好嗎？ 我身体很好。 シーティアオ・チーツ
「ドラレモン」を書いたのは誰？VIVI KONAKI
⑧ バスケ・軽音・援団・アレ・よかった。よしみ #11
んーいわゆるファイティングスピリッツですネミスターG
うん、ざつと百人は軽いね。 みゆきも見たじゃん♡スミ
⑨ 元氣ハツラツ笑顔の女・そんな敦子に…乾杯♡美穂
「ドラレモン」を消したのは誰？ GIZUMO
昨日今日を大切にしない奴に明日未来なんてあるか?! ⑩
⑪ ガッツン頑張ったバスケ!! 楽しかったね♡ちか #4
⑫ 今日もまたかわい美穂にフォーリンラブ♡ふじあつ
CONGRATULATION! サンコウメイパウツ
私は入学して2日目に軽音に人生を売りました。 貞光

みなさん、いろいろどうもありがとう。 中村信子
さよオナラ エブリデエイ 吉田也寸志
私の高校生活は一生「笑いの種」となるでしょう。 こなつ
Gonna Live it up before they bury me byやなち
——存在とはいいたい…なんでしょうね—— なみ
ホントは豆腐なんてへつちやなんだゾ。 えっ？ はやし
2000年12月31日PM9時が楽しみ バカ会よ永遠に… まゆ
浦部・荒木、腹ひっこめろ!! え、あたしも!?
世界は一つの劇場であり歴史は作者なき戯曲である 加納
キムヘソクサイK君の布団濡らした私はスキスキスー祐里
Don't worry, Be happy! ななえ
NO SIDEまでBESTを戻す、悔い無きために 元
ここで一句①若ハゲや河合のうえに八嶋まで 谷口
ここで一句②東くん女の上でもドラミング やしま
ここで一句③谷口は、夏が大好き、すけたブラ 東
ここで一句④そり入れて赤くぬつたら八嶋君 菅沼
私は去る10月26日トラックに足をひかれました 亀井
この学校、気合はいつてねんだよ、気合入れろコラノ 名
うんうん(笑)おれもだよ。 ほしいたいし。 関根
ここで一句⑤誰でもいい結婚してやれ河やんと 弦
栗原歯科はヤブ医者という噂がある。 一度行きたい♡杉山
授業に出て楽しかった。 自分らしく生きて下さい。 奥谷
親にしないでよい心配をかけない。 老けてしまう。 河合

ビックリクリクリ・クリックリッ!! 池田 守寿
さようなら松原高校 はじめまして専門学校。 五十畑
浪人生—花に散り雪に散り—を演じたいです。 板倉
「バカ会」それは青春であり、永遠である。 伊藤 秀人
JUST LIKE STANDING OVER 智之
川田のストレッチプラムVS三沢のフェースロック三七番
1992年10月14日(水)2時30頃 LHRにて 登志雄
俺の熱い心は、ラグビーと共にいつまでも 古賀 恵二
まだまだ先は長いぞ!! 粒々辛苦 酒巻 研二
先日、変なおばさんに「公園で遊ぼう」といわれた。 洋二
勝っても負けてもタイガースが好きやねん。 高田 健志
太陽にほえろ!! 高柳 正人
あつというまの三年間だった。 田玉 真己
時が過ぎるのが異様に早いのは何故なんだノ 佃 有三
まっ白な灰に燃えつきた。 中村 康
もう少しです 永井 宏幸
誰でもいいから物理部へ入れ、FMT-TOWNSあるよ。 福田
西暦2000年 闇が支配するよ。 水内 隆
よくできました。 けんいち
たいへんよくできました。 安井 慎吾
ちなみに私も軽音に人生を売りました。 山田 慎一
僕にとつては楽しい三年間でした。 ありがとう。 オバチン
月曜日HRに行くといつも明るい君たちがいた。 榎本成己

編集後記

委員長 二B 永井 雄作

昨年度に引き続き、今年度も「ル・クール」の制作にあたりました。特に、今年度は委員長となって、委員をまとめていくことのむずかしさを知りました。委員がまとまっていかなければ、記事もまとまりがないものになってしまいうし、良い「ル・クール」はできない。つまり、委員が一丸となって、読者が協力して初めて一冊の「ル・クール」が完成するのです。

今号、四十一号は、前号よりさらに読みごたえのある良いものを作ろうと努力してきました。ですが、全員が集まって話し合ったり、作業をする時間が少ないため、なかなか思うように進まなくて、途中、何度も壁にぶつかり、もうできないかもしれないというようなこともありました。が無事に出来上がって本当に良かったと思っています。

まだまだ、内容などに不満点があるとは思いますが、これらは、これからの「ル・クール」に期待していただきます。

そして、最後に、論説を書いていただいた、昨年度顧問の国語科・河村先生、顧問の富永先生、松本先生、遅くまで残って仕事をしてくれた、役員、委員の人たち、多数の生徒の皆さん、どうもありがとうございました。

(副委員長 一C 小山 功記)

☆締切日になっても原稿が集まらないつつ／＼おマケに私はハッキリ言っても役立たずっ／＼本当に大丈夫なのかなあ……などと心配したりもしましたが(でもやっぱり仕事をしない役立たず)なんとかできあがりそうですね。皆でつくり上げた「ル・クール四十一号」です。どうか最後まで読んでください。

(編集局長 一D 安井 更織)

☆多くの苦難を乗り越えて、「ル・クール四十一号」が完成しました。初めは気軽な気持ちで取り組んでいましたが、実際に原稿集め等をやっていると、自分の考えの甘さを実感したものであった。

我々の汗の結晶であるこの「ル・クール」を最後まで読んでいただける様、お願い致します。

(副局長 二B 清田 智之)

☆はつきり言って何をやる委員会なのかわからないまま入った委員会だったので、(楽そうだと思ったのに……)やって見たらものすごく大変だったので悲しかったです……。と言ってもあまり(全然!!)手伝わなかったもので、他の委員の人より楽だったらしい……。でも実はこいうゆう仕事って結構好きなので来年も入ってしまう気がする……。

(副局長 一C 福本 千穂)

ル・クール四十一号の制作にあたって、前回は先輩方が手伝ってくださったおかげで、大変楽だったのですが、今回はそれなりの苦勞はありましたが、前回と同様良い物ができたと思います。やはり、本一冊を完成することができたのは、皆さんの協力のおかげだと思いますし、制作者として、完成したのを見て感無量です。

生徒一人一人が作り上げた、「ル・クール」を、最後まで読んでもらいたいです。あと最後に、原稿を書いてくださった先生、生徒に私からこの場をかりて感謝の意を表します。本当にありがとうございました。

(副委員長 二F 山東 隆博)

僕は副委員長でしたが、ほとんど副委員長らしき仕事をしませんでした。こんな僕が生徒会誌編集委員会に入り、しかも副委員長なんかになったのは、すべてジャンケンに負けたせいでした。しかし、初めは、本一冊くらいと気楽に考えていました。しかし、一学期が終わり、二学期も終わりに近づいてきたころから、だんだんいろいろと問題ができて、ほんとに、「ル・クール」は出るんだろうかという不安が出てきました。こんなことなら、もう少しまともに仕事をするんだって後悔してしまいました。それでも、他のみんなががんばったので、なんとか「ル・クール」も出そうなので、どうか最後まで読んでください。

編集に興味があつて積極的にこの委員になった人、仕方なく、まあやってみるかの人、なりゆきでさせられてしまった人などいろいろな人を含めてスタートしたル・クール委員会でしたが、委員長は前年度の経験者でもあり、この仕事が大好きだと語ってくれただけあって、全委員をよくまとめ、やる気満々で取りくんできました。

まず全体計画に基づいて原稿やアンケートの依頼、回収(関所)、レイアウト、編集、校正、そして印刷業者との交渉等々、一連の流れをよく掌握し各委員との意見交換を深めながらの采配ぶりは実に見事なものでした。

ある一年生は「先輩が親切に自身をもつて教えてくれたので信頼してついて来られた。尊敬しています。」「大変なこともあったけど、とても楽しく委員会活動ができて嬉しかった。」「と正直な感想。そしてある男子はだまって委員長活動姿勢を観察するかのような、その顔には次年度につながる意気込みをちよつぷりのぞかせてくれたように思えたのです。とにかくみんな仲良く一所懸命がんばってくれたお陰で、今第四十一号の完成を迎えることができたのです。原稿を寄せてくれた人、そして全委員の皆さん本当にご苦労さまでした。中味はじっくり読んで下さい。

「銘」ル・クールとは「魂や精神の宿るところ」と説明があるように松原高校の魂がいつまでも若者らしく生き生きと輝き続けることを心から願っております。

(顧問 富永 富美子)

ル・クール41号

平成5 (1993) 年3月12日

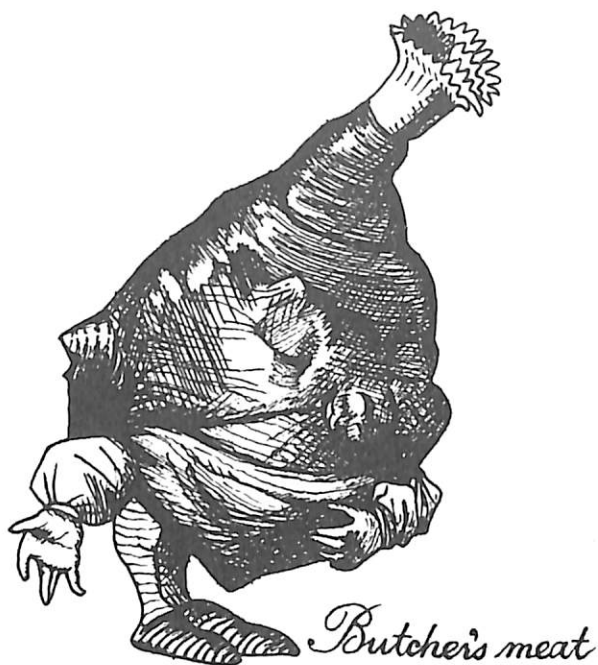
発行 東京都立松原高等学校生徒会
〒156 東京都世田谷区桜上水
4-3-5

電話 03(3303)5381

編集 生徒会誌編集委員会

印刷 株式会社フォレストアート

電話 03(3264)0801



平成 4 (1992) 年度生徒会誌
東京都立松原高等学校生徒会
平成 5 (1993) 年 3 月12日発行